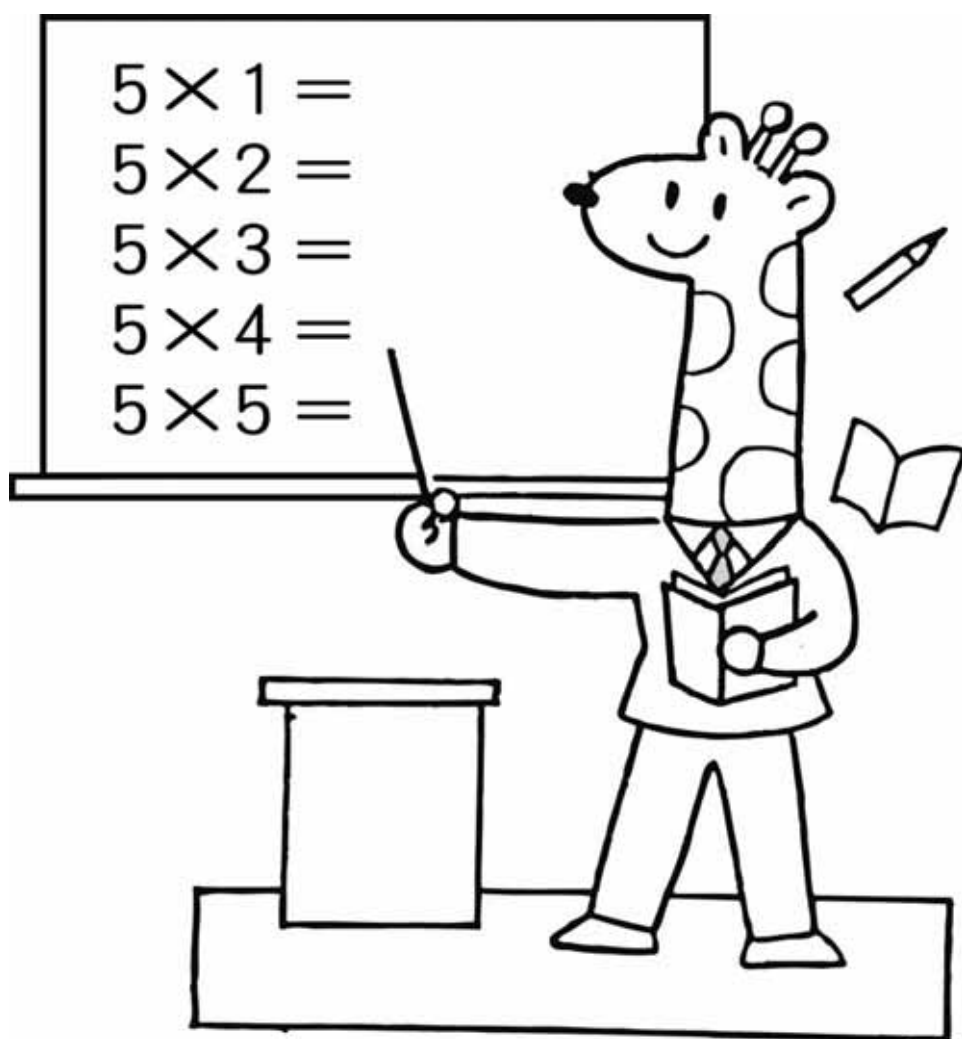


# ～新村式基礎学習のすべて～



株式会社 新村教育研究所

# はじめに

## 危機に瀕する日本の教育

今、教育界では子供たちの「学力低下」が話題になっており、その現状に対する危機感はあるばかりです。日本が高度経済成長を実現しつつあった頃は世界でもトップの座にあった学力が、今では先進国の中で最下位に近いレベルにまで下がっているのです。

新村教育研究所の塾部門、新村塾でも、入塾する際のテストの結果が10年以上前から下降線をたどっており、児童の学力低下の実態を目の当たりにしてきました。

## 現代の子供たち

日本の一番の資源、それは教育によって鍛えられた頭脳であったはずですが、では、なぜ今その頭脳が失われつつあるのでしょうか。生活レベルの向上により、身の回りのあらゆる物が便利になりました。また、少子化によって親の子供に対する過保護、過干渉が進み、TVゲーム、おもちゃなど欲しがるだけ与えるという風潮が当たり前のようになって、忍耐力・集中力・思考力・応用力・創造力の欠如、活字離れといった弊害を生み、さらには脳波に対する影響も取り沙汰されるようになりました。今、子供たちの脳は危険にさらされているのです。このような幼児・低学年期を経た子供たちは、勉強、特に算数が嫌いといわれています。今学校ではさまざまな深刻な問題を抱えています。中でも学級崩壊は算数嫌いの子が多いクラスから進む傾向にあると指摘されています。

## 各国の取り組み

先年、イギリスやアメリカでも教育が社会問題化しました。しかしイギリスのサッチャー前首相、ブレア現首相は危機感を募らせ大胆な教育改革を断行。「児童の学力をあげるためにカリキュラムに基づいた全国共通試験を実施。成績の悪い学校を責任追及した」結果、この11年間で190校が廃校になり質の高い学校が生き残り低学力に歯止めをかけたのです。アメリカでも自由放任の教育が見直され、レーガン政権時代から教育政策を大きく転回させ、ブッシュ（父）、クリントン、ブッシュ（現）と続きその成果は着々と現れてきています。

## ペスタロッチを超越した新村式指導

ペスタロッチ博士(18世紀・スイス)は、「子どもたちは誰でも、百人いれば百とおりの教材と、その子に合った百とおりの指導法で教育を受ける権利を持っている。」と名言を遺した。

今、新村式基礎学習では、百人いれば、その子に合った二百とおりの教材で指導しています。(13ページ参照)

(株)新村教育研究所 代表取締役  
新村塾 塾長 新村清志

# 目 次

◆◇基礎学習の重要性	4
▪ 低学力の実態	▪ つまずきは1年生3学期で始まる
▪ 能力差の実態	▪ 重度のひき算病4週間で全快
◆◇学力を伸ばす条件	8
▪ 適齢期	▪ 学習量と進級率
▪ 能力別・個別学習	▪ 低学力児童の学習量と進級率
▪ わかる学習	▪ 庭学習と進級率
▪ 学習効果を高める「進級式」	
◆◇理想の教材で	12
▪ 理想の教材とは？	▪ メイン教材「基礎学習練習帳」シリーズ
▪ 勉強って楽しい！	学習内容一覧表
▪ 教材一覧表	▪ 教科書、一般教材との比較
◆◇基礎学習練習帳 ～読み・書き・計算の総合学習～	18
◆◇計算練習帳 ～能力開発は集中力とスピードで～	24
▪ 基礎計算テスト（オリジナル100問計算）	▪ 計算プリント
◆◇暗算 ～脳を活性化する働き～	27
▪ 暗算の重要性	▪ 新村式裏わざ
▪ ソロバンと暗算	
◆◇文章題 ～読解力と分析力～	28
▪ 嫌われものの文章題	▪ “嫌い”から“大好き”へ
◆◇かきかたノート・漢字練習帳 ～国語力は「読み・書き」から～	30
◆◇その他のテストプリント類	34
▪ 入塾実力テスト・章題入塾テスト・漢字テスト	
◆◇幼児基礎学習	35
▪ 早期教育と幼児基礎学習	▪ 幼児学習カリキュラム
▪ 創造力を高める教材群	
◆◇塾選びは慎重に	40
▪ 乱塾時代は低学力時代!?	▪ 塾選びの決め手は？
▪ 甘い言葉にご用心！	▪ 親から子への贈り物

# 基礎学習の重要性

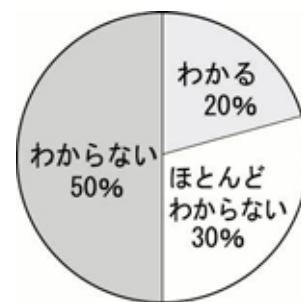
どんな建物でも基礎工事から始めます。学習においても同様で、基礎なくして学力の向上は望めません。基礎学習の根幹を成すもの、それは「読み・書き・そろばん（計算）」です。この3つをバランスよく取り入れた新村式「基礎学習システム」の内容をご紹介する前に、まず現代の子供たちの低学力の実態を見てみましょう。

## ■低学力の実態

この表で見ると、恐ろしいほどの学力である。公立小学校の場合、全国の傾向も同様のものと推測される。小学校で、勉強が、「良く分かる」20%、「良く分からない」50%、「殆ど分からない」30%となる。

新村式基礎学習システムは、児童の能力を良く調べ、「分かる学習を分かるまで身につく基礎学力を」を教育理念としている。

4年生の場合、Aグループ（レベル）は4学年の学習を、Bグループは3学年の学習、Cグループは1・2学年の学習程度の教材で学習を始め、徐々に確実に進級させていく。



## 4年生学力テスト成績分布表

テスト内容 3学年程度の問題 (平成5年度～9年度)40人 東京 新村塾 新村研究所調査(H10.11)

レベル	点	算数総合(3年生程度)		計算力(基礎計算)		文章題	
A 3年生	100	9人 22.5%	●	13人 32.5%	●●	6人 15%	●
	90～		●●●●		●●●●●●		●●●
	80～		●●●●●●		●●●●●●		●●●●
B 2年生	70～	22人 55%	●●●●●●●●	22人 55%	●●●●●●●●	16人 40%	●●●●●●
	60～		●●●●●●●		●●●●●●●●		●●●●●
	50～		●●●●●		●●●●●●		●●●●
	40～		●●●●●		●●●●		●●●●●
C 1年生	30～	9人 22.5%	●●●●●	5人 12.5%	●●●●	18人 45%	●●●●●●●●●●
	20～		●●●●		●●●		●●●●●
	10～		●●●				●●●●
	0～9		●				●●●●●
平均点		55.6点		61.5点		44点	
テスト内容		時刻・時間 重さ 大きな数 分数 かけ算・わり算 かさ 円・球 少数		基礎計算(100問テスト) 5+7 58+7 7×8 30÷9 12-5 42-38 36÷4		3学年程度の問題	

## 小学生の問題ができない中学生

右下の表は、中学生の基礎学力の実態を調査したものです。小学生の問題を解けない中学生が非常に多い現実を浮き彫りにしています。日常生活でもよく使う簡単なたし算、ひき算、かけ算さえ正しく計算できない中学生が、方程式や因数分解など解けるはずがありませんね。

これは小学生の時に基礎をかためずに先へ先へと進んでしまったのが原因と考えられます。このようなことにならないように、早めに対策を立てておかなければなりません。例えば、小学3年生で習うわり算がわからないとしたら、2年生で習ったかけ算をしっかり復習しなければなりません。かけ算もよく理解できていなかったとなれば、1年生の時のたし算、ひき算に戻って学習し直す必要があるのです。

こうして見ていくと、低学力の原因は基礎学習の不徹底にあることがわかります。

東京・町田 341人

出展：読売新聞

	小学校算数の学年と問題	まちがい	
		人数	%
1	2年 43+26	13	3.8
2	2年 128-56	23	6.7
3	3年 214×37	52	15.2
4	4年 25×88-66÷3	123	36.1
5	5年 6.3×2.4×6.08	153	44.9
6	3年 7.80=( )dℓ	85	24.9
7	3年 2/3時間=( )分	73	21.4
8	5年 ( )の32%=0.48m	213	62.4

### ■能力差の実態

しかし、一方では何の問題もなく順調に進んでいる子供たちもいます。ですから物心がついてからわずか数年の間に、容易に縮められない能力の差が確実にできてしまっているということが言えるのです。

新村式「基礎学習システム」では、まず一人一人の子供の能力を掌握することからスタートし、個々のレベルに応じて、わかる学習をわかるまで徹底的に指導します。

右の表のように、たとえ4年生でもAレベルの子は1学年下げた3年生、Bレベルの子は2学年下げ、Cレベルの子は3学年下げの1年生の学習から始めます。

4年生の算数実力テスト

レベル	点	算数総合(3年生程度)	
A 3年生	100		●
	90～	9人	●●●
	80～	22.5%	●●●●●
B 2年生	70～		●●●●●●●●
	60～	22人	●●●●●●●
	50～	55.0%	●●●●●
	40～		●●●●●
C 1年生	30～		●●●
	20～	9人	●●●
	10～	22.5%	●●
	0～9		●
平均点		55.6点	
テスト内容		時刻・時間 重さ 大きな数 分数 かけ算・わり算 量 円・球 少数	

## 基礎学力の重要性

草木は風雪に備え深く広く地中に根を張る。また、どんな建物でも風雪・災害に備え強い基礎を施す。教育(学習)にも当然「基礎」の重要性が求められる。

過密で高度化した学習内容、薄っぺらな教科書、授業時間の減少、ところてん式・エスカレーター式進級など、この悪条件の中では「基礎学力」の充実など至難の環境だ。

### 落ちこぼれ中学生、半年で成績大躍進。

中学校で、「九九や2・3年生の易しい計算もできない小学生を迎え入れなければならない。」と、そんな悲痛な叫び声が聞こえる。

下の表は昭和62年、信州大学と松本中学校で、基礎学力について共同で実験した報告です。その年の4月、新入生402人にテストをし、成績1位から402位まで序列化し、それを上位・中位・下位・最下位グループの4つに分け、そのうち最下位グループ102人を選び、補習授業が始まった。補習科目は小学2・3年生の算数で、9月までの半年間、週1回のペースで精力的に実施された。

9月、2学期に入り、402名全員に学力テストをし、その結果を見た。300番以下の底辺グループ102人の大躍進振りに驚いた。成績が下がった生徒は1人もいなかった。

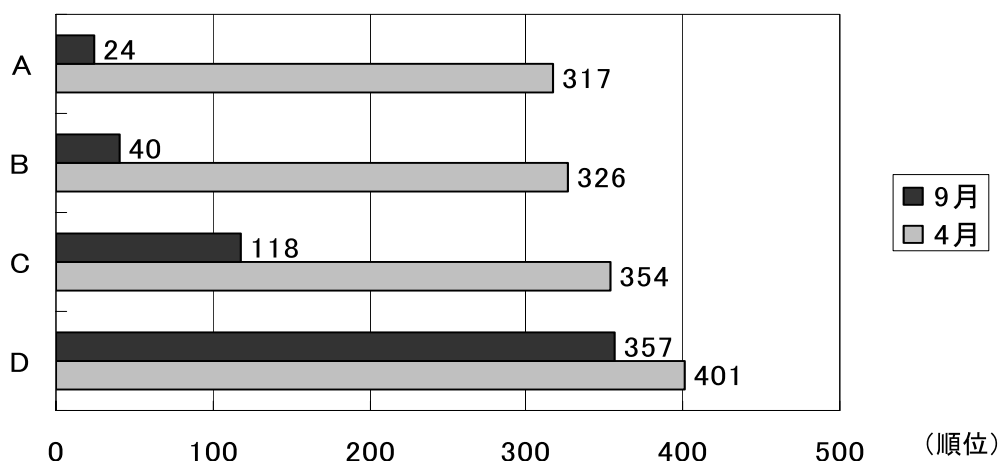
小学校、低・中学年の学習は、その人の人生や命運を左右するほどの大事な学習といえる。

生徒	4月	9月	抜いた人数
A	317位	24位	292人
B	326位	40位	285人
C	354位	118位	235人
D	357位	357位	43人

出展/日珠算連研究誌第4号

愛知県教育大学 今栄國晴先生

(生徒名)



## ■つまずきは1年生3学期で始まる

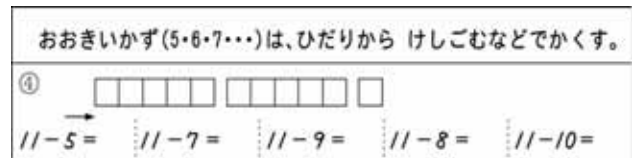
現在、国際的に見ても学力が低い水準に低迷している日本。新しいランドセルを背負って張り切って入学した1年生が、なぜ、そして、いつの時期につまずいてしまうのでしょうか。

新村教育研究所で長年にわたって研究した結果、つまずきのきっかけは、1年生の3学期に学習する、くり下がりのあるひき算であることがわかりました。ここまで順調に進んできた子も、このくり下がりで混乱し

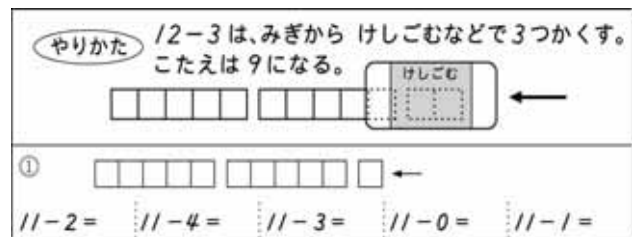
てしまうようです。教科書を開けばわかるように、学校では、減加法という計算方法のみ、これを理解させようとし、減々法の考え方は教えてくれません。

初めてくり下がりのひき算の壁にぶつかった子供たちは両方考え方を学習することによって、くり下がりの意味を深く理解し、数の概念が頭の中ででき上がっていくのです。

では、この時期に数の概念が身につかなかった子供たちは、一体どうなるのでしょうか。



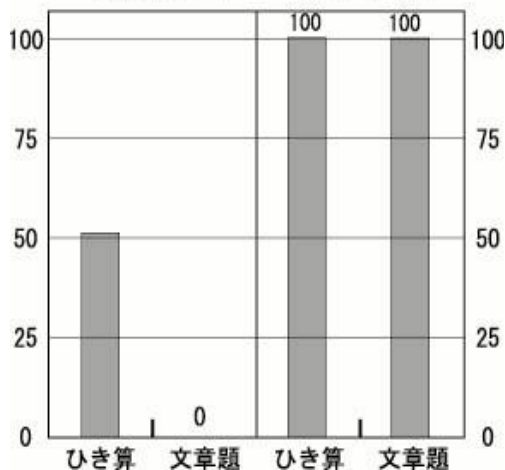
(減加法で解く問題)



(減々法で解く問題)

## ■重度のひき算病、4週間で全快

4月9日 → 5月7日



実際にこんな例がありました。小学3年生のA子ちゃんは、ある有名算数教室に4年間通っていましたが、どうしても苦手な算数が克服できず、新村塾へ。テストをしてみたところ、かけ算とたし算の計算はできたものの、ひき算と文章題が極端に弱く、文章題に至っては、0点という結果でした。しかも細かく分析してみると、答えが8になるくり下がりのひき算が共通して不正解なのです。これはA子ちゃんの場合、8という数の概念がしっかりと頭に入っていなかったということを意味します。文章題の場合、何がどう問われているのが全くわからなかったようです。

そこで、新村式「基礎学習システム」により、減々法と減加法を具体的に、かつ徹底的に指導しました。このバランスのとれた学習法は、A子ちゃんの弱点をカバーし、わずか4週間でひき算も、たし算、かけ算同様に100問を3分台で全問正解するという結果が得られたのです。理解が深まると、スピードアップといううれしいおまけも自然についてくるんですね。

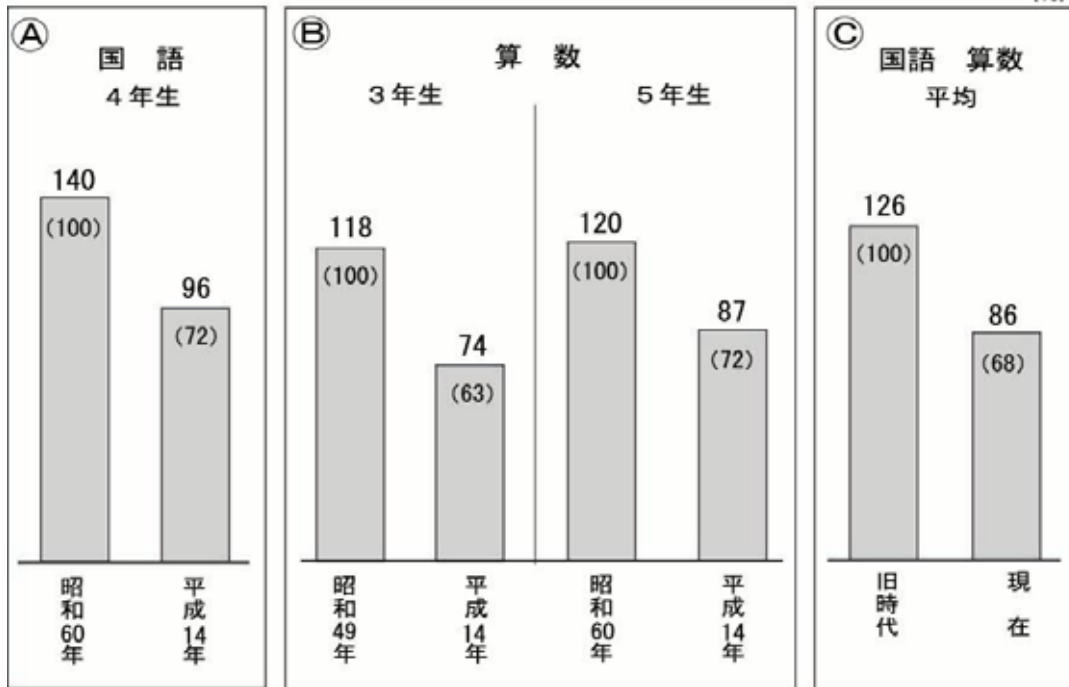
文章題の方ももちろんめきめき力をつけ、見事100点を取れるようになりました。

今、中学生や高校生でも、このくり下がりのひき算に頭を抱えてしまう人が大勢いるとか。低学年での学習内容は、後々まで尾を引くということなのです。

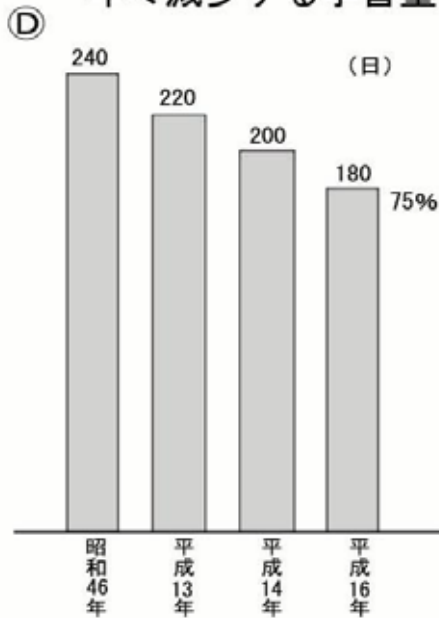
# 低学力の背景

30年で激減した教科書の頁

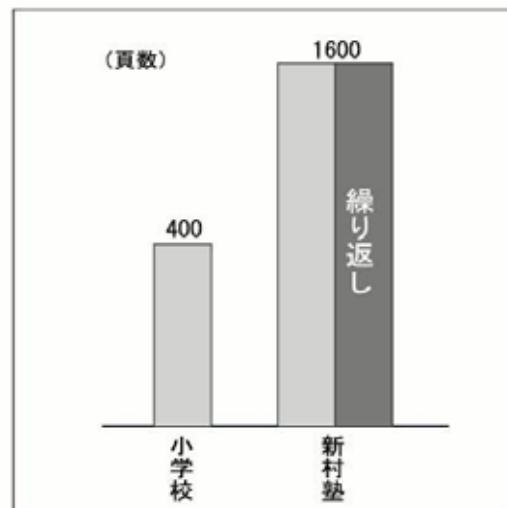
頁数  
(%)



年々減少する学習量



個人年間学習量  
(読み書き計算)  
新村塾





## 学力を伸ばす条件

### ■ 適齢期

「幼児・低学年のうち、まだそんなに慌てて勉強なんかしなくても……」そんな声もお母さんたちの間から聞こえてきます。

しかし考えてみてください。小学1年生では「文字や数」を習います。2年生では「やさしい加減算、かけ算の九九、長さ、時刻」を、3年生では「かけざん・わりざん・重さ・一万より大きい数」等を学習します。どれをとっても高学年、中学、高校、さらには大人になってからの実生活で必要不可欠なものばかり。

子供たちの将来の夢は実にさまざま、また可能性も無限にあります。夢を実現させるためにも、すべての土台となる基礎学習は何一つおろそかにできないのです。そして、その学習を始める“適齢期”とはいつなのか？——それは今、すなわち好奇心が旺盛でゆとりを持って取り組める幼児・低学年期です。

新村式「基礎学習システム」は幼児・低学年期からスタートできるシステムです。

### ■ 能力別・個別学習の二刀流

能力差の実態については前に触れましたが、実際に、よくできる子供とそうでない子供に同じレベルの教材を使って学習させたら、どうなるでしょうか。

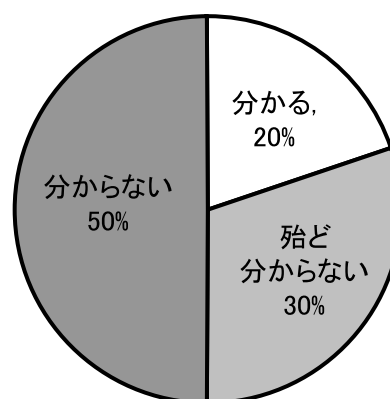
よくできる子供の方はどんどん進んでレベルアップしていくでしょう。けれども、あまりできない子供は、ますますできなくなり、勉強が嫌いになって、さらにできなくなるといふ悪循環に陥るでしょう。

子供の能力は、同じ学年でも千差万別で伸びるスピードにも個人差があります。同じテストを受けて、6年生より1年生の方が得点がよかったという例さえあるのです。この6年生の子の場合、思い切って低学年の学習内容に戻って基礎をかため直す必要がありますね。新村式「基礎学習システム」では各教材の進度を個人別に調整し、しかも**苦手な単元を細かく掌握して、その部分を重点的に指導**するなど、一人一人の子供たちが無理なく楽しく学習していけるように配慮しています。

### ■ わかる学習

ご承知のように小学校では授業時間が削減され、子供たちの理解が定着しないまま、先へ進まざるを得ない状況で、当然のことながらついていけない子供が増えています。下のグラフは新村教育研究所で小学4年生の算数・文章題・漢字の勉強の理解度を調査したものです。これを見ると「わかる」と答えた子供は全体の5分の1程度しかわかりません。

新村式「基礎学習システム」は、“わかる学習”を基本理念として、研究・開発されていますので、子供たちは消化不良のまま放置されることはありません。一人一人の子供に対して、その消化力に応じた適切な処置を行い、十分に消化するまで見守る体制が整えられています。



### ■ 学習効果をも高める「進級式」

学校では、子供の生年月日をもとにして区切った学年ごとに授業を行います。しかし個々の学力は学年という枠で計れるものではありません。極端な例ですが、4月2日生まれの子と翌年の4月1日生まれの子が同じ教室で学習するといったことも実際にあるのです。子供たちは勉強が理解できていようといまいと、1年たてば学年は進んでしまいます。仕方のないこととはいえ、かなり無理がありますね。

本当に効果の上がる学習指導を行うには、学年という枠をはずし、一人一人の子供がどれくらいのレベルにいるのかを正確に見極めることが必要です。

新村式「基礎学習システム」は、進級基準を定めた「進級式」を採用し、無理なく着実に学習を進めていくことを可能にしました。進級式では、何年生であろうと、理解ができていなければ進級できません。逆に言うと、進級したということは、理解がしっかり定着したことの証といえるわけです。

子供たちは、それぞれのペースで進級の階段を上りながら、「わかる喜び」「学ぶ楽しさ」を肌で感じ、次のステップへの意欲に目を輝かせています。

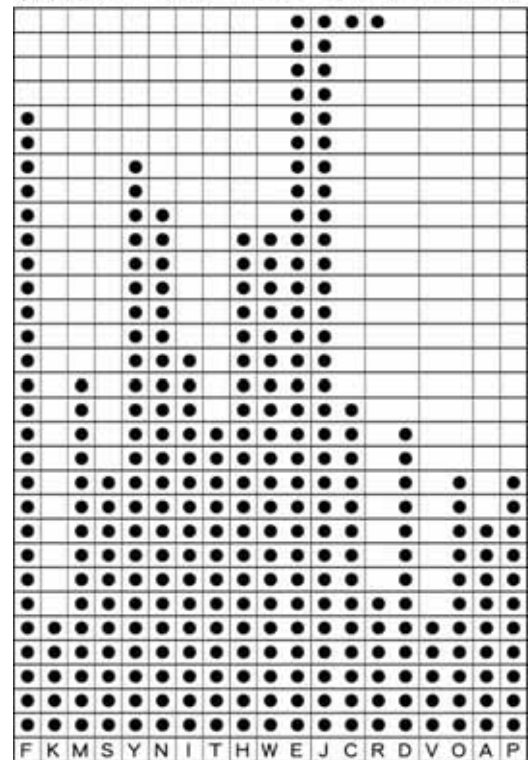
### ■ 学習量と進級率

学習量と進級率は、言うまでもなく比例します。つまり学習すればするほど、実力がついて自信につながり、ステップアップのバネになるのです。ただし、その学習方法と学習レベルが適切であることが条件ですが。

新村塾にほとんど無欠席で通ってきていた1子ちゃんは、新村式「基礎学習練習帳シリーズ」を2年間で300冊仕上げるというすばらしい記録を残しました。2年間で300冊（計4,500ページ）—1日に6.25ページと言った方が、そのすばらしさがピンと来るかもしれませんね。これを毎日コンスタントにこなしたのですから本当に立派。彼女がぐんぐん進級していったことは言うまでもありません。もちろん学校の成績も上位になり、周りの友達をかなり引き離れたそうです。これは、まさに学習量と進級率が比例していることを証明した例といえるでしょう。

右のグラフは学期ごとに「基礎学習練習帳」の冊数を競う、新村塾の「練習帳がんばりコンクール」の成績を表したものです。子供たちは、1冊仕上げるごとに、確かな手ごたえを感じ、日々努力して積み重ねることの大切さを体で理解しています。

練習帳がんばりコンクール2年生 ●…1冊

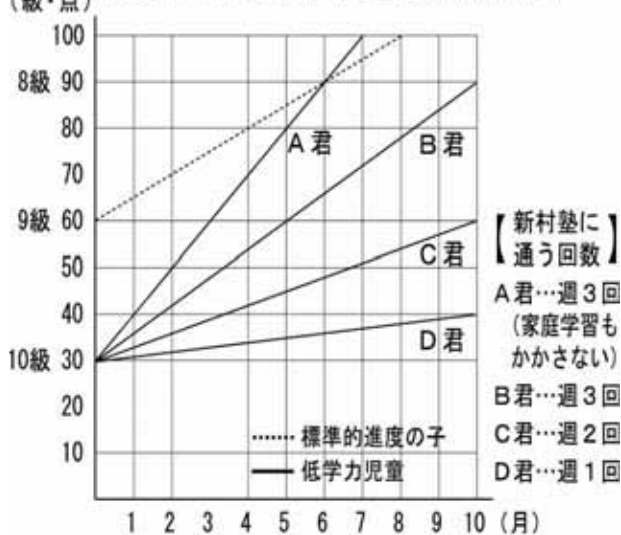


### ■ 低学力児童の学習量と進級率

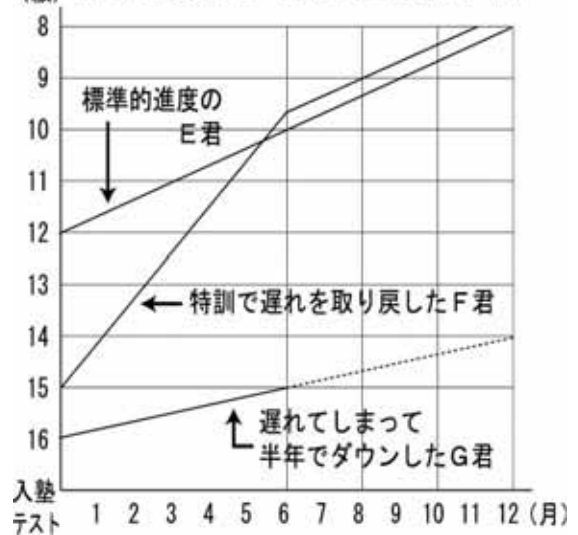
新村塾では子供が入塾する際、まず入塾テストを行います。個別学習をするためには個々の実力を正確に知ることが必要だからです。もしその結果が、ひどく思わしくなくても心配することはありません。努力すればいいのですから。ただし、人と同じことをやったのではだめということは、スポーツや音楽の世界と同じです。人の何倍も努力しなくてはなりません。

2つのグラフからわかるように、低学力児童の場合も努力次第で標準的進度の子のみならず、上位の子をも超えることが可能なのです。まさに「うさぎと亀」の亀。地道に努力した者の勝ちですね。

低学力児童の学習量と進級率(1)



低学力児童の学習量と進級率(2)



### ■ 家庭学習と進級率

「塾に通っているのだから」と、それだけで安心してしまって家庭では何もしなくていいと考えているお母さん、あるいは「塾の宿題は出さずに学力を向上させてほしい」と言うお母さん、それは間違いです。塾での限られた時間では、内容豊富な教材すべてをこなすことはできません。そこで塾で指導を受けた分の残りは家庭でということになります。この家庭学習の積み重ねによって着実に能力を高めていくための基礎ができ、自主的に学ぶ心が育まれるのです。積み重ねを怠ると、当然どんどん積み残しが増えていき、落ちこぼれてしまったという挫折感・疎外感に悩むことになります。こんなことにならないよう、家庭学習は必ず行いましょう。

「学校からの宿題もあるから、時間がない」!?

いいえ、仮に塾から1回5ページの宿題を出されたとしても、集中してやれば、わずか20分で終わらせることができます。この20分という時間がとれないことはないはず。時間は知恵を絞って作り出すもの。お母さん、優しく厳しいバックアップをしてあげてください。

家庭学習が多ければ多いほど、進級が速いということはいうまでもありません。

## 理想の教材で

### ■理想の教材とは？

今は乱塾といわれるほど、学力向上をうたった学習塾が増えており、その教材も多種多様です。また、書店に行けばおびただしい数の教材が所狭しと並べられています。教育熱心なお母さんたちは、ついあれもこれもと手を伸ばしたくなるでしょう。

しかし、待ってください。表面的な選び方をして一方的に子供たちに押しつけていませんか。

あらゆる教材を与えてきたけれど、やはり子供たちにとって勉強というと、「嫌なもの」「わからないと怒られるもの」という、苦痛を伴うイメージが依然として消えず、学習の成果も上がらなくて頭を悩ませているお母さんが多いのではないのでしょうか。

子供は本来楽しいことが大好きです。ですから楽しく学習できる教材でなくては長続きしません。そこで、「勉強嫌いだった子供でも、いつの間にか吸い込まれるように学習している」——そんな教材があったら理想的ですね。

新村式「基礎学習システム」のバラエティに富んだ数々の教材は、この理想を現実のものにしました。その特長としては次の事柄が挙げられます。

- ①わかる教材である。
- ②楽しく学習できる。
- ③独学自習できるよう構成されている。
- ④総合的な学習内容（読み・書き・計算及び応用）になっている。
- ⑤能力別指導が可能なシステムである。
- ⑥習熟を目的としている。

もちろん「ローマは1日にして成らず」。新村式「基礎学習システム」の教材は、30年以上もの間、子供たちの学習状況を調査し、子供たちの生の声に耳を傾け、暗中模索と試行錯誤の末、生まれたのです。このようにして築き上げられたものならではの蓄積が1ページ1ページに反映されており、温かみさえ感じられます。

### ■勉強は楽しいもの

「基礎学習練習帳」を何冊かやり終えたある子供がにこにこして言いました。

「これって、子供が喜んで勉強できるように作ってあるんじゃないの？」

この子は勉強を、苦痛どころか楽しいものと感じ始めています。そうなのです。知らなかったことを知り、わからなかったことがわかる、あるいは難しいことに挑戦してみてもできるようになる——これは、誰にとっても喜びのはず。

「勉強って本来楽しいものなんですね。忘れがちなそのことを、この教材が呼び起こしてくれたんです」と、お母さんもにこにこ顔です。

子供が自然にやりたくなる教材——温かい血の通った教材だからこそ、子供たちの知的

好奇心、向上心をつかんで離さず、大人からの一方的な押しつけに終わることなく真の学力向上に結びついているのでしょう。つまり「学力を伸ばす条件」を満たしている教材ということが言えるわけです。

この理想の教材を、ぜひお母さんも手にとって、じっくり見てください。

### ★★Coffee Break 「脳・モア・ゲーム！！」

家の中のみならず、公園でも数人の子供が頭を突き合わせてゲーム機に没頭している姿を見かけます。中には道を歩きながら、なんていう子も。

道行く人々も、もはや見て見ぬふりです。

お父さん、お母さん、脳医学の研究によると「過度の（ゲーム機の）プレイヤーの脳波は前頭葉機能の低下から痴呆症と類似したものになる」そうですよ。

ほら、子供の脳の悲鳴が聞こえるでしょう？ 「脳・モア・ゲーム！！」

## ■教材一覧表

新村式「基礎学習システム」は以下の教材で構成されています。

教材名		構成	年齢・学年の目安
基礎学習練習帳		幼児 (1~12)	4~5 歳
		入門 (1~12)	5~6 歳
		A (1~14)	1 年生
		B (1~18)	2 年生
		C (1~20)	3 年生
		D (1~22)	4 年生
漢字練習帳		A (1~3)	1 年生
		B (1~4)	2 年生
		C (1~5)	3 年生
計算練習帳 (基礎計算テスト・計算プリント)		17~3 級	
暗算			
文章題		15~4 級	
ようじの「かきかたノート」			4~5 歳
ひらがな「かきかたノート」			1 年生以上
カタカナ「かきかたノート」			1 年生以上
かきかた (ひらがな) プリント集			1 年生以上
数字練習帳			4 歳~
テストプリント	入塾実力テスト	幼児・1 年・2 年・3 年・4 年以上	
	文章題テスト	2 初 A・B	2 年生
		3 初 A・B	3 年生
		4 初 A・B	4 年生以上
漢字テスト	漢字練習帳 1 冊につき 1 枚		
よみかた練習帳			4~6 歳
きりえノート			4~5 歳
よみかた絵本		A~C	4~5 歳
ぬりえプリント			
積み木			
つみきノート		入門~中・上級	幼児~一般
○△□図形パズル			
図形パズルノート		A~E	幼児~一般







## ■教科書、一般教材との比較

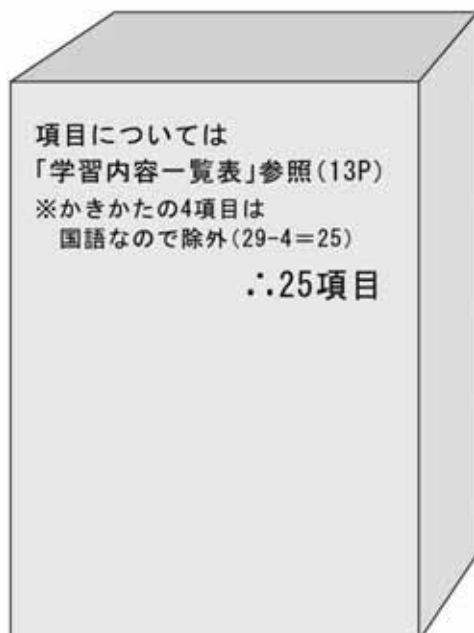
「学習内容一覧表」からおわかりいただけと思いますが、新村式「基礎学習練習帳シリーズ」の内容は、実に豊富で充実しており、基礎学力を向上させるための要素をすべて網羅していると言っても過言ではありません。しかも、お金や時計、乗り物、動物など、身の回りの、どこにでもある具体的な物を素材として問題作成されていますので、抵抗なく“数の世界”へ入っていきそうですね。理想の教材といわれるゆえんです。

一方、学校で使われている教科書の単位にはどのようなものがあるのでしょうか。

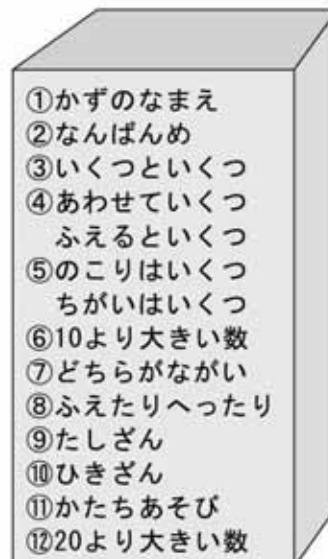
さらに、計算力の強化に力を入れているある算数教室の教材の内容はどうでしょうか。ちょっと見てみましょう。

下の図は、新村式「基礎学習練習帳Aシリーズ」と1年生の算数の教科書、そしてある算数教室の1年生の教材の項目の数を表したものです。

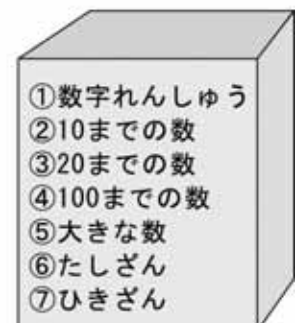
【新村式「基礎学習練習帳Aシリーズ」】  
〈25項目〉



【算数教科書】  
〈12項目〉



【ある算数教室】  
〈7項目〉



新村式「基礎学習練習帳」が、単なるテクニックの習得や、勉強した気になるだけの学習システムではなく、**真の学力の定着**を目指すものであることがおわかりいただけだと思います。しかも、その学力をさらにパワーアップさせるものとして「計算練習帳」「文章題」etc. が用意されているのですから鬼に金棒ですね。

「数っておもしろいね！！」

「算数が好きになったよ！！」

子供たちから、そんな声が聞こえてきそうです。

それでは、実際に各教材の中を見てみることにしましょう。

# 基礎学習練習帳

～読み・書き・計算の総合学習～

まず、新村式「基礎学習システム」のメイン教材「基礎学習練習帳」についてご紹介しましょう。

これは幼児、入門、A、B、C、Dの各シリーズを進めていくうちに、読み・書き・計算の力が自然についていくように構成されており、問題の形式も単調でなく変化に富んでいますので子供のやわらかい頭をほどよく刺激してくれるでしょう。また、問題を解く子供の側に立ったアドバイスや順序よく考えるためのアプローチなど、ユーザーに優しい独自の工夫が凝らされているのもうれしいですね。

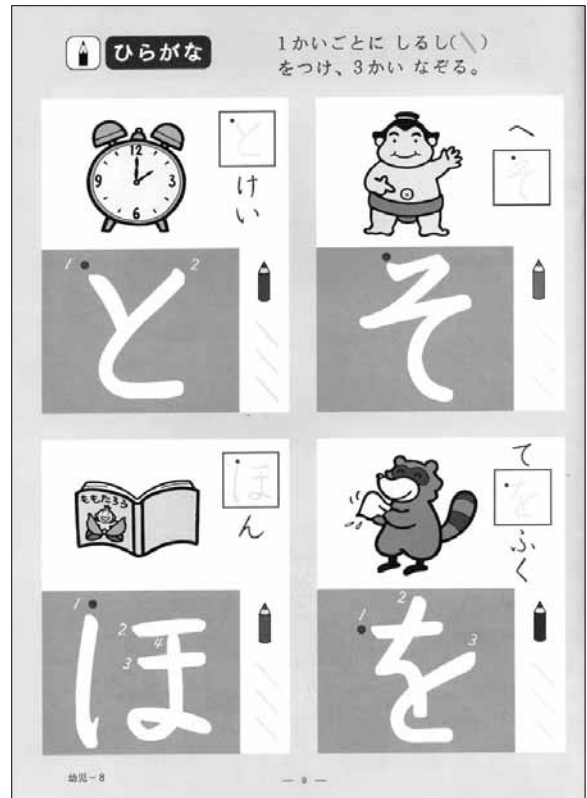
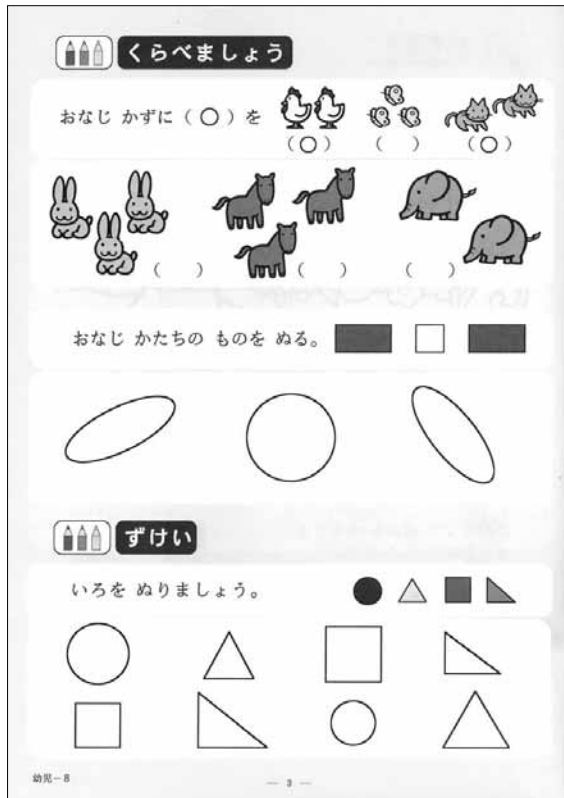
子供たちは「わからないよ」とすぐに投げ出すことなく、身近にある物を頭の中に描いて考えたり、手や指を使って、あるいは図に表して考えているうちに、論理的な思考ができるようになります。ですから、例えばかけ算の文章題の場合のように、答えは合っているが式の「かける数」と「かけられる数」が逆になっている、というような混乱もきちんと修正され、真の理解へと導かれていくのです。この経験が次へ次へと生かされ、次第に数の概念が身についていくようになっていきます。

また、しりとり、反対語クイズ、方陣、クリプトなど、遊び好きな子供たちを飽きさせない数々のお楽しみコーナーがあります。このような遊びの要素は子供にとってとても大切なものであるにもかかわらず、学校の授業ではあまり取り入れられていないとか。達成感に満ちた子供の生き生きとした表情こそが、学習成果の証です。

では、「百聞は一見に如かず」。各シリーズの中身を実際に見ていきましょう。

## 【幼児シリーズ】

好きな色をぬったり、シールを切って貼ったりすることからスタートし、数字やひらがなが正しく書けるよう、楽しいイラストを使って学習します。  
(幼児/年中程度)



## 【入門シリーズ】

数えたり、なぞったりの簡単な学習からスタートし、物と数字の対応を中心に、数の概念の基礎を学びます。シールを使った遊びやぬり絵で楽しみながら、自然に学習する習慣が身につきます。正しい鉛筆の持ち方、字を丁寧に書く習慣も指導します。(幼児/年長程度)

てんとてん

えをみて、てんとてんをむすびましょう。

いろいろめりましょう。

かぞのよみかた

こえをだして、2かいずつよみましょう。

ひこうき、こども、き

○にもじを、□にすうじをいれましょう。

	○○○○が□き
	○○○○が□にん
	○が□ほん

- 4 -

かぞえる 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

ゆびはなんほんですか。 ものとゆびをむすぶ。


- 6 -

ぶんしょうだい

わにが○びきいます。

2びきいなくなると、  
のこりは□びき

ほうきが○ほんあり  
ます。あと1ほんかうと、  
あわせて□ほん

ざるが○びきいます。

1びきいなくなると、  
のこりは□ひき

みかんが○こあります

あと2こもちうと、  
あわせて□こ

かぞえる★ちえつく(✓)して、かぞえましょう。

	たかいきは□ほん
	ひくいきは□ほん
	きはぜんぶで□ほん

326

- 10 -

かんじ

1からじゅんばんにシール(しいる)をはりましょう。

くち

↓2かいずつなぞる

あおいシール

千せん

あおいシール

326

- 9 -

# 【Aシリーズ】

すべての計算の基礎となる1の位の数のたし算・ひき算を、絵を使って繰り返し学習し、理解を定着させます。しりとり、反対語クイズ、ぬり絵などは「楽しい!」と、子供たちに人気があります。(1年生程度)

### とびすう

○の中にすうじをかきいれなさい。

1	2	3	4	
6	7	8	9	
11	12	13	14	
16	17	18	19	
21	22	23	24	
26	27	28	29	

5とび てんすうじはなぞる。

5	10	15	20	25
30	35		45	
55		65		75
	85		95	

ゆびは  ほん

ゆびは  ほん

ゆびは  ほん

ゆびは  ほん

### 5とび

5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
5									
55	60	65	70	75	80	85	90	95	100

- 8 -

### とけい

○ 5ずつおおくるよう  の中にすうじをかきなさい。  
てんすうじはなぞる。

5	15	30	50
---	----	----	----

○ とけいのすうじは、1.2.3...12です。ながいはりは分(ぶん)をさします。1は5ぶん、2は10ぶんとよみます。  の中にすうじをかきいれなさい。

- 8 -

### たしざん

ひだりとみぎをあわせていくつですか。

ひだり  みぎ   $\rightarrow$   $\square + \square = \square$

○ + ○ は  こはいつて ○ こはみだす。

ひだり  みぎ   $\rightarrow$   $\square + \square = \square$

○ + ○ は  こはいつて ○ こはみだす。

ひだり  みぎ   $\rightarrow$   $\square + \square = \square$

ひだり  みぎ   $\rightarrow$   $\square + \square = \square$

ひだり  みぎ   $\rightarrow$   $\square + \square = \square$

ひだり  みぎ   $\rightarrow$   $\square + \square = \square$

- 5 -

### ひきざん

りんごが  こたべると のこりは  こ

$5 - 2 = \square$

りんごが  こたべると のこりは  こ

$\square - \square = \square$

りんごが  こたべると のこりは  こ

$5 - 4 = \square$

りんごが  こたべると のこりは  こ

$10 - 6 = \square$

$10 - 7 = \square$

$10 - 5 = \square$

$5 - 1 = \square$

$10 - 2 = \square$

$5 - 2 = \square$

$10 - 10 = \square$

$5 - 5 = \square$

$10 - 4 = \square$

たしざん

5	10	10
3	8	
		6

5	10	10
	4	7
	5	

- 6 -

## 【Bシリーズ】

Aシリーズの内容をより深く学習し、かけ算からわり算の入門までを勉強します。定規を使って図を描いたり、そろばんの絵を用いた数の学習、文章題、漢字、時計など、多彩な内容で基礎学力の向上を図ります。(2年生程度)

### かけざん

 $2 \times \square = 8$	 $\square \times \square = \square$
 $3 \times \square = \square$	 $2 \times \square = \square$
 $\square \times \square = \square$	 $\square \times \square = \square$
 $\square \times \square = \square$	 $\square \times \square = \square$
 $\square \times \square = \square$	 $\square \times \square = \square$
 $\square \times \square = \square$	 $\square \times \square = \square$

いろいろな問題:  
いちがい  $4 \times \square = 12$   
よこ  $6 \times \square = 12$   
ななめ  $2 \times \square = 12$

B-14 - 5 -

### ひらがな九九

ひらがなをこえをだしてよみ、かけざん九九をかく。  
「二十七、四十五」などのよみかたは、せんせいにききましょう。

6のだん	7のだん	8のだん
ろく れいが れい	しち に じゅうし	はち ご 四十
$\times 0 =$	$\times =$	$\times =$
ろく ご さんじゅう	しち ご さんじゅうご	はち ろく 四十八
$\times =$	$\times =$	$\times =$
ろく に じゅうに	しち れいが れい	はち いち が はち
$\times =$	$\times =$	$\times =$
ろく ろく さんじゅうろく	しち しち 四十九	はち れい が れい
$\times =$	$\times =$	$\times =$
ろく し にじゅうし	しち いち が しち	はち しち ごじゅうろく
$\times =$	$\times =$	$\times =$
ろく に じゅうに	しち し にじゅうはち	はち じゅう はちじゅうろく
$\times =$	$\times =$	$\times =$
ろく しち 四十二	しち さん にじゅういち	はち に じゅうろく
$\times =$	$\times =$	$\times =$
ろく ろく ごじゅうろく	しち じゅう はちじゅう	はち っば ろくじゅうし
$\times =$	$\times =$	$\times =$
ろく さん じゅうはち	しち は ごじゅうろく	はち 三 にじゅうし
$\times =$	$\times =$	$\times =$
ろく は 四十八	しち ろく 四十二	はち 四 さんじゅうに
$\times =$	$\times =$	$\times =$
ろく じゅう はちじゅう	しち ろく じゅうさん	はち っく 七十二
$\times 10 =$	$\times =$	$\times =$

B-14 - 6 -

### ながさ

ものさしで、—の長さをはかりなさい。

—  $\square$  cm 合わせて  $\square$  cm  
—  $\square$  cm ちがいは  $\square$  cm

—  $\square$  cm  $\square$  mm 合わせて  $\square$  cm  $\square$  mm  
—  $\square$  cm  $\square$  mm ちがいは  $\square$  mm

—  $\square$  cm  $\square$  mm 合わせて  $\square$  cm  $\square$  mm  
—  $\square$  cm  $\square$  mm ちがいは  $\square$  mm

長さのけいさんをしなさい。こたえにcmやmmをつける。

$4\text{ cm} + 5\text{ cm} =$   $8\text{ mm} - 2\text{ mm} =$   
 $1\text{ mm} + 6\text{ mm} =$   $9\text{ cm} - 7\text{ cm} =$   
 $3\text{ cm} + 7\text{ cm} =$   $12\text{ cm} - 4\text{ cm} =$

$9\text{ mm} + 3\text{ mm} = \square\text{ mm} = \square\text{ cm} \square\text{ mm}$   
 $5\text{ mm} + 6\text{ mm} =$   $=$   
 $2\text{ cm } 4\text{ mm} + 1\text{ cm } 5\text{ mm} =$   
 $3\text{ cm } 6\text{ mm} + 7\text{ cm } 1\text{ mm} =$

$12\text{ cm } 9\text{ mm} - 8\text{ cm } 8\text{ mm} =$   
 $17\text{ cm } 2\text{ mm} - 10\text{ cm} =$   
 $1\text{ cm } 3\text{ mm} - 5\text{ mm} =$

B-17 - 9 -

### かさ(りょう)

1ℓがあります。このますに半分まで水を入れるには、1dlますで何はいりますか。  $\square$  はい

1ℓますをいっぱいにするには、1dlますで  $\square$  はい

まほうびんに入った水をはかったら、1ℓます2はいと1dlます4はいありました。水のかさは  $2\text{ l } 4\text{ dl}$  です。ぜんぶを1dlますではかると  $\square$  はい

1ℓますの1めもりは、1dlますの1はいぶんです。

$1\text{ l} = 10\text{ dl}$

1ℓ入りのジュース(ア)と2dl入りのジュース(イ)があります。左の□に数字を入れなさい。

どちらがどれだけ多いか。○が  $\square$  dl 多い  
アとイを合わせると

$\square\text{ dl} + \square\text{ dl} = \square\text{ dl}$

上のしきを  $\square$  をつけてけいさんすると

$\square\text{ l} + \square\text{ dl} = \square\text{ l } \square\text{ dl}$

B-17 - 10 -

# 【Cシリーズ】

たし算、ひき算、かけ算、わり算の計算と文章題に重点を置き、計算力、読解力、応用力の向上を目指します。分数、小数を導入し、図形・単位・数の遊び・漢字の読み書きなど、幅広く学習します。(3年生程度)

### 文章題

115人のせいどが えんそくに行きます。6人の先主もいっしょです。えんそくに行く人は、みんなで何人ですか。

※ 6人ずつの はんが 7つあります。みんなで何入いますか。  
6×7が 7×6か して 答えなさい。

本を 32さつもっています。おとうどに 4さつ、友だちに 8さつかしました。今、何さつあるでしょうか。

17本の えんぴつを 3人で分けると、1人に 何本ずつくばれて 何本 のこるでしょう。

### ほうじん

あいたに たて・よこたして になる数を 入れなさい。

10 1を2かい つかう	13 6は つかわない	14 3は つかわない
2 0	4 2	4 2
3 6	0 8	9 5

### いろいろ算

1 37は あどいくつで 45ですか	10 90-□=88
2 六十円は 五十五円と 何円か	11 90-60-15は
3 七十円は 十円きつて 何まいか	12 8の 6はいは
4 85と 100の ちがいは いくらか	13 100×4
5 88の はんぶんは	14 66の はんぶんは
6 8円の いろかみ 4まい 買うと	15 三十 かける 三は
7 2しゅうかんは 何日か	16 にひやくじゅう
8 50 100 100 ×10は	17 五百三十五
9 100 100 ×10は	18 1000円のはんぶん
19 1に 220円の ねんごを 2こ買うと いくらか	
20 100円で 25円の ビーズを 2こ買うと おつりは いくらか	
21 ※ 赤い花5本・白い花3本ずつ 4人に配ると ぜんぶで何本か	

15人のうち 山田君は 前から 5番目です。山田君の 後ろには 何入いますか。

大・小13この はこがあります。小さいのは 3こです。大・小どちらが 何こ 多いですか。

答えは 7ページ

### 時間

分よりも細かい時間の単位を秒といいます。

秒をはかるときには、右のようなストップウォッチを使うとべんりです。ストップウォッチの長いはりが 1まわりすると 60秒で、これは 1分と同じです。

1分 = 60秒

ストップウォッチ

右と左で、合うものを線でおすがなさい。

おふろに入っていた時間	9秒間
夜、ねていた時間	30分間
50m走るのにかった時間	10時間

1分 = 60秒 つぎの時間を、( )の単位で表しなさい。

(秒)	(分)	(分 秒)
2分 = 秒	60分 = 分	90分 = 分 秒
3分 = 秒	180分 = 分	70分 = 分 秒
4分 = 秒	120分 = 分	150分 = 分 秒
5分 = 秒	300分 = 分	200分 = 分 秒
10分 = 秒	420分 = 分	220分 = 分 秒
30分 = 秒	240分 = 分	250分 = 分 秒

### かん字

① 午前のべんきよう ② おり紙を買ってもらう。 ③ 父親に会う。 ④ 電車が走る。 ⑤ 北のさむい国 ⑥ 顔と首 ⑦ えんそくの作文 ⑧ さびしく思う。 ⑨ 貝がら ⑩ 里の雪もとける。

答えは 7ページ

### あまりのでるわり算

2人でわけると	20÷6=3...○
3人でわけると	5÷2=2...○
1人には	21÷9=2...○
あまり	10÷4=2...○
	40÷6=6...○
	11÷2=5...○
	32÷7=4...○
	10÷3=3...○
	12÷9=1...○
	18÷5=3...○
	51÷7=7...○
	14÷4=3...○
	32÷9=3...○
	19÷7=2...○
	31÷8=3...○
	13÷3=4...○
	53÷6=8...○
	20÷8=2...○
	13÷7=1...○

# 【Dシリーズ】

Cシリーズの内容をさらに掘り下げ、計算力・暗算力の向上を図ります。小数・分数・図形の面積・大きな数・概数・概算・グラフなど、数の世界が広がります。(4年生程度)

### 大きな数 ⑬

標準時間 6分 1/2 分 形

① わり算で大きな数を計算するとき、桁数を利用して大変楽に計算することができます。例えば、12億÷4万の場合、その桁数は、10桁÷5桁=5桁となります。商は、12÷4=3で、この3は、5桁の数で3万となります。なかには、商が1桁多くなるものもあります。

② □に桁数を入れる。

$\begin{array}{r} A \quad B \quad C \\ 3640 \div 40 = 91 \rightarrow \begin{array}{ c c c } \hline 4 & 2 & 2 \\ \hline \end{array} \\ 4500 \div 60 = 75 \quad \begin{array}{ c c } \hline \cdot & \cdot \\ \hline \end{array} \\ 19000 \div 500 = 38 \quad \begin{array}{ c c } \hline \cdot & \cdot \\ \hline \end{array} \\ 23500 \div 500 = 47 \quad \begin{array}{ c c } \hline \cdot & \cdot \\ \hline \end{array} \\ 80000 \div 20 = 4000 \quad \begin{array}{ c c } \hline \cdot & \cdot \\ \hline \end{array} \end{array}$	<p>③ 桁数を入れる。</p> $\begin{array}{r} A \quad B \quad C \\ 1500 \div 60 = 25 \quad \begin{array}{ c c c } \hline & & \\ \hline \end{array} \\ 2310 \div 30 = 77 \quad \begin{array}{ c c c } \hline & & \\ \hline \end{array} \\ \bullet 3000 \div 20 = 150 \quad \begin{array}{ c c c } \hline & & \\ \hline \end{array} \\ 25200 \div 400 = 63 \quad \begin{array}{ c c c } \hline & & \\ \hline \end{array} \\ 42000 \div 500 = 84 \quad \begin{array}{ c c c } \hline & & \\ \hline \end{array} \\ \bullet 96000 \div 300 = 320 \quad \begin{array}{ c c c } \hline & & \\ \hline \end{array} \\ 32400 \div 60 = 540 \quad \begin{array}{ c c c } \hline & & \\ \hline \end{array} \\ 24500 \div 70 = 350 \quad \begin{array}{ c c c } \hline & & \\ \hline \end{array} \\ \bullet 65000 \div 50 = 1300 \quad \begin{array}{ c c c } \hline & & \\ \hline \end{array} \end{array}$
--	---

④ 最初に桁数を入れ、暗算で商を求める。

A	B	A B C	C
25000	÷ 50	→	□ □ □ □
16000	÷ 40		□ □ □ □
52000	÷ 20		□ □ □ □
24000	÷ 600		□ □ □ □
15000	÷ 500		□ □ □ □
72000	÷ 600		□ □ □ □

⑤ ぐるしの問題は、高の桁数が( )桁多くなっている。

② 次の数は何桁ですか。

7万5千 ( ) 桁	6億500万 ( ) 桁	十三億七千万 ( ) 桁
165万 ( ) 桁	49万6000 ( ) 桁	二千六百八億 ( ) 桁
4056万 ( ) 桁	8070万 ( ) 桁	三百五億 ( ) 桁

③ 次のわり算は、先に桁数を入れてから商を求めなさい。

A	B	A B C	C
三十一万五千	÷ 42	2	60
四十一万八千	÷ 2		
四十一万二千	÷ 2		

-12- D-11

### 式と計算 ⑧

標準時間 11分 1/2 分 形

① ( )を使った式

① 左のようにダイヤルが並べてあります。( )を使い、1つの式で全部の数を求めるなさい。

② 2000円で、250円のりんごを3こ、350円のかきを2こ買いました。おつりはいくらですか。

③ 1000円のうち、100円玉が8枚で、あとは50円玉です。50円玉は何枚ですか。

② 次の計算をし、下の答えと合わせて○をつけなさい。

$54 - 48 + 6 + 90 =$	$700 - 20 \times (7 + 8) =$
$290 + 8 \times 5 + 80 =$	$350 \div 45 \times (10 - 6) =$
$630 - 150 \div 2 \times 4 =$	$68 \times 5 - 150 \div (2 \times 3) =$
$400 - 4 \times 2 \times 5 + 35 =$	$530 + 67 \times (120 - 40) =$
$100 - 154 \div 7 - 15 =$	$(16 + 87) \times (200 - 25) =$
$320 - 35 \times 6 - 53 =$	$(280 + 170) \times (52 - 26) =$

④ いろいろな算

1 $2520 \div 42 =$	2 $30 \times 25 \div 21 \times 16 \div 3 =$	3 $6.2 \times 0 =$
4 $15 \text{ の } \frac{2}{5} \text{ は } ( ) \text{ だ}$	5 アイの直径を何といいますが、	
6 $51 + 9 \times 4 \div 6 =$	7 $1 \text{ 時間の } \frac{1}{10} \text{ は } ( ) \text{ 分}$	

-13- D-11

### 小 数 ②

標準時間 6分 1/2 分 形

① 1ℓのミルクは、小数では0.1ℓと表します。1.2ℓとは1ℓ2dlのことです。

① 1ℓのミルクがあります。そのうち4dl飲んできました。

$1\ell = 10dl$   $1dl = 0.1\ell$

① 何dlですか。  $1 - 4 =$  A.

② 何ℓですか。  $1 - 4 =$  B.

② 1.3ℓのミルクのうち1ℓをイッキに飲んでしまいました。残りは、何ℓですか。

③ 次のかさを( )の単位で求めなさい。

1ℓの  $\frac{1}{10}$  は 0.1ℓ  $1dl = 0.1\ell$   $2.5\ell$  は 2ℓ 5dl

1ℓの  $\frac{1}{10}$  は (ℓ)  $2dl$  は (ℓ)  $3.4\ell$  は (ℓ, dl)  $\ell$  dl

1ℓの  $\frac{1}{10}$  は (ℓ)  $9dl$  は (ℓ)  $2.8\ell$  は (ℓ, dl)

1ℓの  $\frac{1}{10}$  は (ℓ)  $1.5dl$  は (ℓ)  $0.2\ell$  は (dl)

1ℓの  $\frac{1}{10}$  は (ℓ)  $3\ell 7dl$  は (ℓ)  $0.5\ell$  は (dl)

④ 次の数を、ℓ、dl、mlを使って表しなさい。

① 5.843ℓ は  $3.756\ell = 3\ell 756ml$  ② 39.057ℓ は

百円玉を1枚出し、おつりをもらう 千円札を出し、おつりをもらうと残りは、と残りは。

$1000 - 100 = 900$	$10000 - 1000 = 9000$
$10000 - 1000 = 9000$	$10000 - 1000 = 9000$
$10000 - 500 = 9500$	$10000 - 1000 = 9000$
$10000 - 100 = 9900$	$10000 - 1000 = 9000$

-14- D-11

### 分 数 ⑤ (仮・帯)

標準時間 5分 1/2 分 形

① ミルクをパックから1ℓのコップにうつしたら、左の図のように1ℓとほんのりになりました。このほんのりは、ちょうど  $\frac{1}{3}$  ℓでした。ミルクは全部で何ℓありますか。

② 上のミルクは  $1\frac{1}{3}$  ℓですが、 $\frac{1}{3}$  ℓの4つなので、 $\frac{4}{3}$  ℓと表すこともできます。このように、分子が分母より大きいか、分子と分母が等しい分数を仮分数といいます。

③ 次の分数を真分数・帯分数の3つになかま分けしなさい。また、それを見分ける考え方を分数の名前を→でむすびなさい。

$5\frac{1}{2}$   $\frac{5}{5}$   $2\frac{3}{4}$   $\frac{1}{4}$   $\frac{1}{8}$   $\frac{5}{7}$   $1\frac{2}{6}$   $\frac{6}{10}$   $\frac{7}{10}$   $\frac{8}{10}$   $15\frac{2}{3}$

④ 次の分数を真分数・帯分数の3つになかま分けしなさい。また、それを見分ける考え方を分数の名前を→でむすびなさい。

( )	真分数	整数 + 真分数
( )	帯分数	1より小さい分数
( )	帯分数	分子>分母、分子=分母

-15- D-14

# 計算練習帳

～能力開発は集中力とスピードで～

「計算練習帳」は、『基礎計算テスト』と『計算プリント』で構成されています。

## ■基礎計算テスト（オリジナル 100 問計算）

### ★100 問計算を 2～3 分で

前述したように、小学 1 年生が初めて出会う難関は、算数のくり下がりのあるひき算です。これをきちんと理解し、反復練習を十分行ったかどうか、その後の学力向上のかぎとなります。

ところが学校での学習は、内容・時間、ともに不十分と言わざるを得ません。復習のための宿題プリントも到底習熟に至るものではないのが実情です。これはひき算のみならず、すべての学習内容について言えることで、限られたカリキュラムの中ではやむを得ないといったところなのでしょう。

「計算練習帳」は、たし算・ひき算・かけ算・わり算を正しく計算できるように指導しながらタイムを計測して、繰り返し行い、計算能力の向上を図るものです。

計算能力が向上すると、当然スピードもアップしますから、このタイムの記録は一人一人の習熟度を見る目安となります。まずは 100 問が 2～3 分でできるようになることを目標に、何十ページ、何十時間と反復して練習します。

どうも勉強に身が入らず、だらだらしがちな子供も、タイムを計るとなると、俄然意欲を示し、集中して取り組むものです。楽しいことが大好きで、好奇心が旺盛な子供たちにとっては、このタイム計測でさえも、好奇心の対象なのでしょう。しかも進級できるチャンスとなると、そのスリルは子供のやる気をかき立てます。

何度もチャレンジしながら、少しずつ目標に近づいていく喜びは、やった人だけが味わえるもの。子供たちは知らず知らずのうちに計算が好きになっている自分を発見し、身についた集中力に驚く日が来ることでしょう。

### ★57 秒／100 問という記録も

もちろん、100 問を 2～3 分でできれば、それで終わりというわけではありません。子供はみんな冒険家。自分がどこまで頑張れるのか見てみたくなるものです。一つの目標を達成したら、さらなる目標を掲げ、前進しましょう。

ちなみに新村塾での過去最高記録は 57 秒です。これは、25 年前に 4 年生だった S 子ちゃんの記録ですが、いまだにこの記録は破られていません。誰にも破られないまま長い年月がたち、ある日 2 人の女の子を連れて新村塾を訪ねてきた女性がいました。子供たちを入塾させたいというのです。話をするうちに、その女性は紛れもなく、その 57 秒の記録を残した S 子ちゃんだということがわかりました。聞けば、当時身につけた集中力とスピードが、社会に出てからあらゆる場面で非常に役に立ったと実感しているとのこと。

「努力する機会を与えてくれ、努力することがいかに大切かを教えてくれた新村塾に心から感謝しています。ぜひこの子たちにも同じ体験を」と言う新村育ちのお母さんの表情には、迷いは全く感じられませんでした。

さて、このお母さんの記録を更新するのは一体誰でしょう。挑戦してみませんか？

### ◎正確で、きれいに、速く

タイムを計測してスピードアップを図るといっても、ただ速ければいいということではありません。間違いだらけで字はめちゃくちゃというのでは困ります。能力が向上したことにはなりませんね。

まず、計算問題の意味を深く理解した上でのスピードアップであることが大前提です。



理解不足のまま、そして乱雑な文字で、スピードだけを追い求めていくと、順調に進んでいるようでも、必ず壁にぶつかる時が来ますから。

「正確で、きれいに、速く」計算できて初めて、計算力がついたと言えるのです。新村式「基礎学習システム」では、この3つの要素を重視した指導を行っています。

そして、この「基礎計算テスト」の進級の判定結果が、「基礎学習練習帳」の進度調整の目安となります。

## ■ 計算プリント

「計算プリント」は「基礎計算テスト」と交互に学習してください。昨日「基礎計算テスト」をやったから、今日は「計算プリント」をしようというふうに、スケジュールにメリハリが出てきます。この「計算プリント」は、通常の計算問題のほか、お金、図を使った計算問題もあり、数の仕組みを理解しながら加減乗除を行う内容になっています。また、「数さがし」、「いろいろ算」という、苦手な分野を補強するための問題もあります。「数さがし」では、数の合成・分解の練習を中心に行いますので、たし算は得意だけどひき算が苦手という子供にはぴったりです。「いろいろ算」は時間と時刻、長さ、重さ、分数、小数、かさ（量）、図形、カレンダー、漢数字など、文字通りいろいろな内容で応用力の強化を目指します。

「計算練習帳」の〈基礎計算テスト〉と〈計算プリント〉を日々学習することにより、数式の成り立ちが自然に頭の中に浸透し、論理的な考え方ができるようになります。これは低学力時代に求められる、問題を解決する力につながるものと言えるでしょう。

# 【計算練習帳】

幼児から小学4年生までを対象とした内容の、進級式のプリントで、17級から3級までの15段階で構成されています。

基礎計算テスト  
B)11・10・9級・ひきざん 100問(3分)

月	日	分	秒	級	なまえ	点
-	6	9	8	10	7	
4						
1						
3						
5						
2						

1分ごとのタイムを記入し、100問を完了したら、タイムを記録する。

①  $16 - 6 = \square$     ②  $28 + \square = 30$     ③  $66 + \square = 71$   
 ④  $16 - 12 = \square$     ⑤  $28 + \square = 33$     ⑥  $68 + \square = 71$   
 ⑦  $16 - 7 = \square$     ⑧  $29 + \square = 32$     ⑨  $62 + \square = 69$   
 ⑩  $17 - 9 = \square$     ⑪  $29 + \square = 34$     ⑫  $63 + \square = 65$   
 ⑬  $17 - 15 = \square$     ⑭  $34 + \square = 42$     ⑮  $74 + \square = 82$   
 ⑯  $17 - 4 = \square$     ⑰  $34 + \square = 41$     ⑱  $72 + \square = 81$   
 ⑲  $18 - 9 = \square$     ⑳  $35 + \square = 35$     ㉑  $75 + \square = 81$   
 ㉒  $18 - 6 = \square$     ㉓  $35 + \square = 43$     ㉔  $76 + \square = 83$   
 ㉕  $18 - 13 = \square$     ㉖  $46 + \square = 51$     ㉗  $83 + \square = 92$   
 ㉘  $19 - 8 = \square$     ㉙  $46 + \square = 53$     ㉚  $83 + \square = 90$   
 ㉛  $19 - 10 = \square$     ㉜  $45 + \square = 50$     ㉝  $89 + \square = 91$   
 ㉞  $19 - 3 = \square$     ㉟  $45 + \square = 49$     ㊱  $88 + \square = 91$   
 ㊲  $20 - 5 = \square$     ㊳  $53 + \square = 58$     ㊴  $94 + \square = 96$   
 ㊵  $20 - 11 = \square$     ㊶  $54 + \square = 60$     ㊷  $95 + \square = 99$   
 ㊸  $20 - 19 = \square$     ㊹  $54 + \square = 61$     ㊺  $92 + \square = 93$   
 ㊻  $16 - 8 = \square$     ㊼  $57 + \square = 65$     ㊽  $96 + \square = 99$   
 ㊾  $18 - 2 = \square$     ㊿  $57 + \square = 66$

ここまで 11級    ここまで 10級    ここまで 9級

基礎計算テスト  
B)11・10・9級・かけざん 100問(3分)

月	日	分	秒	級	なまえ	点
X	2	3	5	1	4	
3						
2						
3						
5						
0						
1						

1分ごとのタイムを記入し、100問を完了したら、タイムを記録する。

①  $3 \times 4 = \square$     ②  $7 \times 8 = \square$     ③  $7 \times 5 = \square$   
 ④  $5 \times 3 = \square$     ⑤  $8 \times 6 = \square$     ⑥  $3 \times 9 = \square$   
 ⑦  $7 \times 7 = \square$     ⑧  $7 \times 6 = \square$     ⑨  $9 \times 5 = \square$   
 ⑩  $9 \times 4 = \square$     ⑪  $5 \times 4 = \square$     ⑫  $8 \times 3 = \square$   
 ⑬  $9 \times 7 = \square$     ⑭  $8 \times 2 = \square$     ⑮  $6 \times 5 = \square$   
 ⑯  $8 \times 8 = \square$     ⑰  $7 \times 4 = \square$     ⑱  $6 \times 4 = \square$   
 ⑲  $2 \times 0 = \square$     ⑳  $5 \times 7 = \square$     ㉑  $8 \times 6 = \square$   
 ㉒  $6 \times 7 = \square$     ㉓  $9 \times 8 = \square$     ㉔  $7 \times 6 = \square$   
 ㉕  $4 \times 9 = \square$     ㉖  $3 \times 4 = \square$     ㉗  $8 \times 9 = \square$   
 ㉘  $7 \times 9 = \square$     ㉙  $4 \times 7 = \square$     ㉚  $6 \times 6 = \square$   
 ㉛  $4 \times 6 = \square$     ㉜  $7 \times 7 = \square$     ㉝  $7 \times 8 = \square$   
 ㉞  $7 \times 2 = \square$     ㉟  $9 \times 6 = \square$     ㊱  $4 \times 6 = \square$   
 ㊲  $6 \times 9 = \square$     ㊳  $6 \times 7 = \square$     ㊴  $6 \times 8 = \square$   
 ㊵  $3 \times 7 = \square$     ㊶  $6 \times 3 = \square$     ㊷  $8 \times 5 = \square$   
 ㊸  $9 \times 5 = \square$     ㊹  $8 \times 7 = \square$     ㊺  $9 \times 8 = \square$   
 ㊻  $9 \times 9 = \square$     ㊼  $9 \times 3 = \square$     ㊽  $8 \times 7 = \square$   
 ㊾  $6 \times 8 = \square$     ㊿  $9 \times 7 = \square$

ここまで 11級    ここまで 10級    ここまで 9級

(基礎計算テスト)

10級・×入門4 21問

月	日	分	秒	級	なまえ	
①	九九表でしらべろ。	⑧		⑬		
$4 \times \square = 8$	$\square \times 7 = \square$	$\square \times \square = \square$	②	$\square \times 2 = \square$	⑨	$7 \times \square = \square$
③	$6 \times \square = \square$	⑩	$\square \times 2 = \square$	⑭	$\square \times \square = \square$	
④	$\square \times 1 = \square$	⑪	$\square \times \square = \square$	⑰	$\square \times \square = \square$	
⑤	$\square \times 4 = \square$	⑫	$8 \times \square = \square$	⑱	$\square \times \square = \square$	
⑥	$6 \times \square = \square$	⑬	$\square \times \square = \square$	⑳	$\square \times \square = \square$	
⑦	$\square \times 5 = \square$	⑭	$\square \times \square = \square$	㉑	$\square \times \square = \square$	

4分5秒以内で計算しましょう。

数字は書いていねい。

9級・○あんざん入門 (2-1=2) 36問

やりかた  
23-5は、けしごむなどで  
タイルを5つかくす。  
答えは18になる。

①	$25 - 3 = \square$	④	$36 - 5 = \square$
$25 - 5 = \square$	$25 - 7 = \square$	$36 - 3 = \square$	$36 - 9 = \square$
$25 - 4 = \square$	$25 - 6 = \square$	$36 - 7 = \square$	$36 - 8 = \square$
②	$23 - 3 = \square$	⑤	$43 - 1 = \square$
$23 - 1 = \square$	$23 - 5 = \square$	$43 - 3 = \square$	$43 - 6 = \square$
$23 - 2 = \square$	$23 - 4 = \square$	$43 - 4 = \square$	$43 - 4 = \square$
	$23 - 6 = \square$	$43 - 2 = \square$	$43 - 5 = \square$
③	$34 - 3 = \square$	⑥	$47 - 2 = \square$
$34 - 2 = \square$	$34 - 7 = \square$	$47 - 5 = \square$	$47 - 8 = \square$
$34 - 4 = \square$	$34 - 5 = \square$	$47 - 5 = \square$	$47 - 7 = \square$
	$34 - 9 = \square$	$47 - 6 = \square$	$47 - 9 = \square$

4分5秒以内で計算しましょう。

数字は書いていねい。

(計算プリント)

# 暗算

～脳を活性化する働き～

## ■暗算の重要性

基礎計算力がしっかりついてきたら、それを土台にして、次は頭の中だけで行う計算、**暗算に挑戦**しましょう。今の時代、暗算の学習は軽視されがちですが、よくよく考えてみると、私たちは実に頻繁に暗算をしています。買い物、料理、レジャー、仕事……etc. 常に頭の中で、**金額や時間、量、数などの加減乗除**を行っています。そしてこれが、速く、正確にできるのと、できないのとでは大きな差があるのです。例えば、買い物に行って合計がいくらになるか、おつりはいくらか、その場ですばやく計算できないと、場合によっては損をすることも。仕事をする上でもその職種を問わず、頭の中で計算する力は必要です。電卓や筆記用具がないと計算できないというのでは、あらゆる状況に対応できません。

また、暗算は計算をする際に便利であるというだけでなく、**脳そのものを活性化**させる働きがあります。鍛えに鍛えられた暗算力は、**他の学習においても底力**となって現れるでしょう。さあ、脳のやわらかいうちに、しっかり暗算力をつけておきたいものですね。

## ■ソロバンと暗算

一般にソロバンができる人は暗算もよくできると言われていますが、ソロバンができる人というのは、頭の中でソロバンの玉を動かして暗算しています。そういった珠算式暗算よりも、基礎計算力に基づいた算数式暗算の方が、速く答えに到達することができます。ソロバンの能力と暗算力とは別のものなのです。ソロバンはできるが暗算はできないという人もいるくらいですから。

## ■新村式裏わざ

新村式「基礎学習システム」では、暗算は基礎学習の後半からスタートします。まずは「2桁×1桁」の暗算にトライし、次に「3桁×1桁」、「2桁×2桁」というふうにレベルアップしていきます。

例えば、 $35 \times 19 = \square$  という計算。「これを暗算でやるなんて絶対に無理！」

最初は誰もがそう思います。ところが**新村式裏わざ**を使うことにより簡単にできてしまうのです。この場合は「19倍」を「20倍してから1倍をひく」と考えます。

つまり、 $35 \times 20 - 35 \times 1 = \square \rightarrow 700 - 35 = \square$  ∴答えは665 となります。

これなら、紙に書かなくても頭の中で楽に計算できますね。これはほんの一例で、新村式独自の裏わざはまだまだあります。それらをしっかり伝授してくれる「簡便暗算入門書」、鍛錬によりひたすらわざを磨く「あんざん」。これを学習することにより、一見難しそうに見える計算問題も、まるで頭の中に電卓が埋め込まれているかのように、すらすらと解くことができるようになります。**ほんの少し考え方を変えてみる**だけで、それまで不可能だったことが可能になる——この体験は、これから生きていく上で、大切なヒントになるかもしれませんね。

# 文章題

～読解力と分析力～

## ■嫌われものの文章題

計算力に自信がついてきた子も「文章題は好きですか？」と聞かれると、途端にうつむいてしまって「嫌い」と答える、といった話をよく聞きます。お母さんたちの間でも、悩みのタネとして必ず話題になるのが、この文章題。

なぜ文章題が、そんなに子供たちに嫌われているのでしょうか。今の子供たちはテレビやビデオ、すなわち映像と音声の組み合わせから受動的に情報を吸収することが多く、活字を読んで内容を理解するといった作業が少ない生活をしています。もちろん本もないわけではないのですが、人はどうしても「複雑・困難」から「簡単・便利」へ流されがちですから、このような活字離れの傾向は時代とともに強まる一方のようです。

文章に触れる機会が少ないと、読解力が弱くなるのは当然です。ましてや文章の内容を分析することなど不可能です。読解力の弱い1～2年生の中には、「あわせて」「ぜんぶで」という言葉が問題の中に含まれていたら、たせばいい、あるいは「ちがいは」「どちらがどれだけ」という言葉があれば、ひけばいい、などと機械的に覚え込もうとしている子供が少なからずいます。分析する努力を避けているのです。これは非常に危険ですね。問題文が、それらのキーワードの代わりに別の表現をしていたらもうお手上げです。たとえ答えが合っていたとしても、このような解き方では「文章を読んで理解し、分析して答えを出した」ということにはなりません。ですから応用もききません。「このボタンを押せばこうなる」という仕組みのコンピュータゲームとばかりつき合っていると、そういう思考パターンになるのでしょうか。

その辺の因果関係はさておいて、言葉は生き物であり、その言葉を複数組み合わせでできた文章もまた生き物であることを理解し、さまざまな問いかけに対応できるよう、文章の要旨を的確につかんで分析し解答する力をつけることが求められます。

## ■“嫌い”から“大好き”へ

文章題嫌いを克服するにはどうしたらいいか——答えは簡単。いろいろな文章題をたくさん解くことです。

新村式「基礎学習システム」では、こういった現状を踏まえ、子供たちのニーズに応えた「文章題」が用意されています。しかも進級方式なので、自分に合ったレベルから無理なく始めることが可能です。

とはいえ、最初は文章の内容が頭に入ってこなくて、苦痛の連続かもしれません。でも大丈夫。新村式「文章題」では、問いかけの意味をわかりやすくするためのワンポイントアドバイスが助けてくれます。「さあ、やりなさい！」と押しつけて、あとは知らんぷりの先生ではなく、一問一問「こんなふうを考えてみたらどうかな？」とか、「このように図に表してみるとわかりやすいよ」などと声をかけてくれる、優しい先生がそばにいるようなもの。

「あっ、そうか！」「わかった！」

鉛筆から手を離してしまっていた子も、思わず拾い直して、さらさらさらと書き始める。この体験を重ねていくうちに、いつしかアドバイスがなくても問題文の趣旨を理解し、自力で解けるようになるのです。そうなれば進級も思うがまま。

「文章題は好きですか？」と聞かれても、もう元気に答えられますね。

「はい、大好きです！」と。

準6級-16回 文章題 いるいる算 氏名 \_\_\_\_\_

1 大きさを比べ  $\frac{3}{8}$   $\frac{7}{8}$   $\frac{2}{8}$   $1.7 + 0.3 =$   $5万 \div 2 =$

2 20700000 は \_\_\_\_\_ 今日が10日だとおとといは( )日

3 380円の買い物では 百円玉( )に  $300 \times 300 =$

4  $130 \times 4 =$  2時間 $\div 4$ は— 2時間 分 $\div 4 =$  ( )分

5 下の問題(ア・イ)は、どちらの円が大きいですか。 ア・イ

6 ア…直径が20cmの円 イ…半径が15cmの円 ( )の方が大きい

7 40ページある本のうち、その $\frac{1}{4}$ を読みました。何ページ読みましたか。

8 ある学校の生徒は、昨年より70人ふえて、1050人になりました。昨年の生徒は何人だったでしょう。

9 魚つりで、父はほくの4倍つり、兄はほくの2倍つりました。父は、( ) (ほく) ( ) 兄の何倍つったでしょう。

10 ( )の数字を1回だけ使い、合わせて15になるようにする。 ※ $\checkmark$ をずらす

(1 2 3 4 5 6 7 8 9)

3	15
5	15
7	15

(7分) ⑥ 6-16

新村式「文章題」ではごらんのとおり、同じページの中でもひき算があったりたし算があったりと、変化のある内容になっています。形式もさまざまで、時間に関する問題があったかと思えば長さを問う問題があったりします。

例えば、3年生向けの問題(準7、7、準6、6級)。これなどは1ページの中に、たし算、ひき算、かけ算、わり算、概数、小数、分数等の問題が入っており、全4冊の中に96項目もの学習内容が盛り込まれています。このように、子供たちは嫌でも一つ一つ文章を読まなければ解けないよう構成されていますので、自然に読むようになります。そして数をこなしていくうちにどんな問いにも対応できるようになるのです。

【文章題】文章を読み、意味を考えながら解いていき、読解力と分析力を養います。

学習内容主な項目 [文章題 7級(3年生)]

たし算・ひき算・かけ算・わり算	整数 分数 長さ 少量 お時間 暗算	数 数 長さ 長さ 量 金 間算	単 位	分 数	時 間 と 時 刻
			長 さ 重 さ 量 お 金 時 間 単 位 換 算	少 数 図 形 三 角 形 大 き な 数 桁 数 漢 数 字 暦 倍 数 比 較 等 差 数 つ る か め 算	等 号 不 等 号 か け 算 の 等 式 あ ま り の 処 理 工 夫 し て 計 算 計 算 の き ま り ( ) を 使 っ た 式 □ を 使 っ た 式 ○ を か い て 解 く <u>ゲーム・パズル</u> 計 算 ・ 漢 字 連 想 ・ 的 当 て

# かきかたノート・漢字練習帳

～国語力は「読み・書き」から～

「基礎学習練習帳」が「読み・書き・計算」の総合学習のためのメイン教材であることは前に紹介したとおりです。これを“低学力”という名の悪い鬼をやっつける、“学力向上”鬼にたとえるとするならば、金棒はその、「計算」の力をさらに強化する「計算練習帳」「文章題」です。

この鬼は、何ともう片方の手にも金棒を持っています。「読み・書き」の力を強化する「かきかたノート」「漢字練習帳」です。両手に金棒を持った鬼。強そうですね。さらにこの鬼は長文読解の問題集という家来をしたがえているので、向かうところ敵なしです。

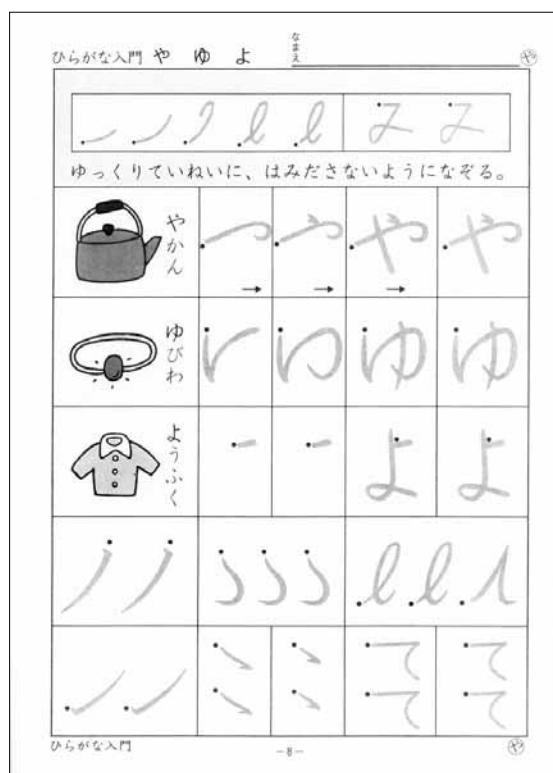
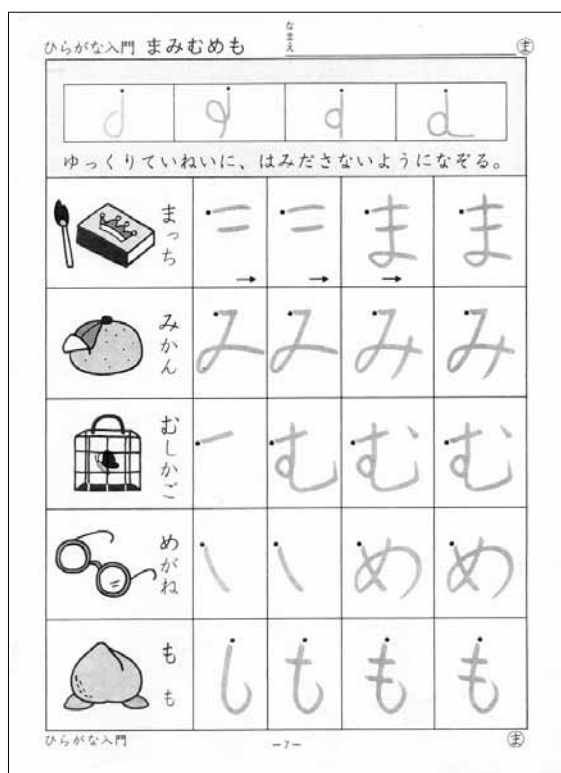
ここではその「かきかたノート」「漢字練習帳」についてご紹介します。

日本人として生まれた以上、ひらがな、カタカナ、漢字などの文字や日本語の文章についての基礎知識は正しく見につけておきたいもの。でも日本に住んでいるのだから、何も特別なことをしなくても……!? いえいえ、まともに漢字を書けない社会人、乱れた日本語を乱れと気づかず平然とあやつる若者であふれる現代、そんなに悠長なことは言っていないられません。

さあ、正しい書き順で、正しい文字を書くことから始めましょう。この「かきかた」が上達すると計算力が向上し、さらに計算力の向上は「かきかた」を上達させるという相乗効果も生まれるそうですよ。言葉の乱れ、文字の乱れは心の乱れ。ぜひ、ここでお母さんも一緒に初心にかえり、正しい日本語の文字を基礎から学んでいただきたいと思います。

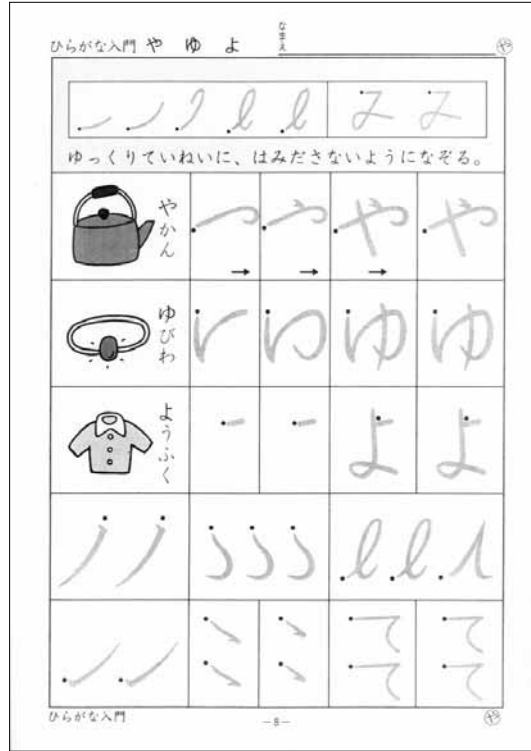
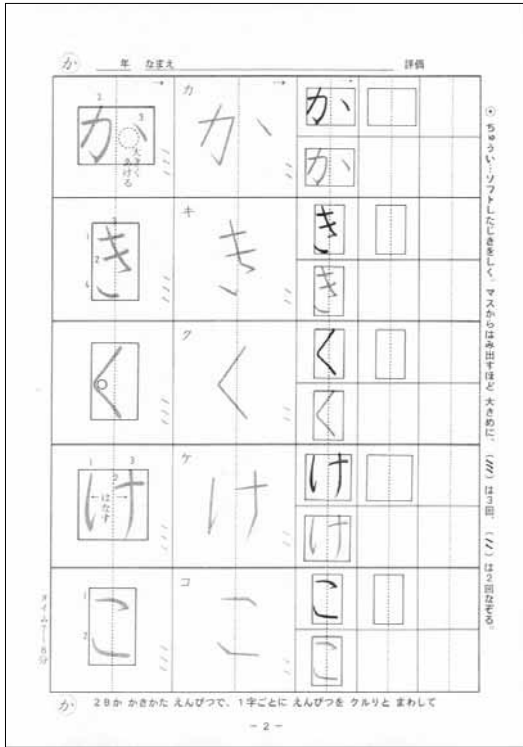
## 【ようじの「かきかたノート」】

ひらがな 12 ページ、カタカナ 2 ページで構成された、なぞりの「かきかたノート」。なぞっているうちに字の特徴を覚え、書くことに慣れてきます。



## 【ひらがな「かきかたノート」】

字形・直線文字による指導で、ひらがなの特徴を認識しながら、かきかたが上達します。



## 【カタカナ「かきかたノート」】

とめる・そらす・はねるなどの細かい指導により、カタカナの特徴をつかみます。



## 【漢字練習帳】

ひらがなもカタカナも、ルーツをたどれば漢字。その漢字の由来については、学校で学習します。子供たちは、はるか1600年余り昔にタイムトリップし、日本の歴史、中国との関わりなど、普段考えもしない世界に足を踏み入れ、ちょっぴり視野が広がることでしょう。この知識をベースに、**漢字の基礎をかためて、応用へと発展させていくのが「漢字練習帳」**です。

### ■漢字ワールドへ出発！

さあ、ここから楽しい漢字ワールドの旅が始まります。

まず、「一」「二」などの漢数字や「山」「川」などの簡単な漢字からスタートし、正しい書き順、読み方などを学習します。反復練習によって定着を図り、その漢字を使った例文でさらに応用力を養い、実践で使いこなせるようになることを目指します。これにより、漢字がひらがなやカタカナのような表音文字でなく、**意味を持った表意文字**であることを自然に学びます。例文の中では、漢字だけでなく、**助詞の正しい使い方**なども同時に学習するよう問題作成されており、単調な漢字の書き取りにとどまらない、**言語感覚を磨く内容**になっています。

### ■漢字の森、漢字の広場も

また、「紙」と「神」、「切る」と「着る」などの**同音異義語**や「さるも木から口（落）ちる」「口（対）岸の火事」などの**ことわざの問題**など、ちょっと違ったアングルから漢字について考えさせるといったさまざまな工夫もあり、深い漢字の森を探検します。さらに漢字を使ったゲームやクイズなどのお楽しみ広場で、子供たちは漢字のおもしろさを満喫し、漢字の成り立ちの妙に触れるでしょう。

「力だめし」のコーナーではどれだけ「読み・書き」の力がついたのか、知ることができます。もし、わからなかったら、**辞書代わりに使える漢字下敷**という強い味方が力を発揮しますから、心配御無用。解答欄についている番号と同じ番号の漢字を探せば、答えを見つけることができます。子供たちの好きな宝探しの感覚で、**自学自習の習慣**をつけることができますね。

そして、最後にちょっとだけ長い文章問題が用意されており、漢字が文の中でどのような役割を果たしているかを学びます（Cシリーズのみ）。これが締めくくりかと思ったら、大間違い。まだまだ旅は終わりません。締めくくりは、裏表紙のテストです。テストといっても怖がることはありません。「漢字練習帳」を1ページ1ページ真面目にやっていたら大丈夫。

こうして漢字ワールドの旅を終えた子は、立派なクラスの漢字博士。もう「漢字を書くのって面倒くさい」なんて言いません。

お友達も、漢字ワールドの旅に誘ってみては？



**ちからだめし**

①口 ふえを ふく。 ②石 しぞう  
③つくえの上 ④木の 下  
⑤手 を 上げる。 ⑥手 を 下 げる  
⑦ ⑧  
⑨ ⑩  
⑪ ⑫  
⑬木 に ぶら がる。  
⑭ さ  
⑮ さか  
⑯ の へい  
⑰ かり  
こたえは ⑱ ページ

①にはよみがな、②にはかんじをかき  
①にはよみがな、②にはかんじをかき

ひかる石をとりにして。  
かるとおにっこがある。  
かるとかじらがある。  
はやくはさださんだ  
あひやうひーらー

上：うえ・あげる 下：した・さがる

**かんじれんしゆう**

① ① ひ 火	② ① ② 木	③ ① ② ③ 金	④ ① ② 土
うすいじは、①がいなぞる。  ①が よう日・ ① か もえる。	 ① よう日・ ① を 切る。	 ① よう日・お もち	 ① よう日・ ① を ほる。
火	木	金	土
火	木	金	土
火	木	金	土

①にはよみがな、②にはかんじをかき  
①にはよみがな、②にはかんじをかき

**ちからだめし**

①全 部 の 人 ② 橋 を か ける。  
③ 勝 負 に 勝 つ。 ④ 商 売 を す る。  
⑤ 夏 休 み の 合 宿 ⑥ 緑 の は た  
⑦ 歩 道 橋 ⑧ 会 社 の 部 長 さ ん  
⑨ ⑩  
⑪ ⑫  
⑬ ⑭  
⑮ ⑯  
⑰ ⑱  
⑲ ⑳  
㉑ ㉒  
㉓ ㉔  
㉕ ㉖  
㉗ ㉘  
㉙ ㉚  
㉛ ㉜  
㉝ ㉞  
㉟ ㊱  
㊲ ㊳  
㊴ ㊵  
㊶ ㊷  
㊸ ㊹  
㊺ ㊻  
㊼ ㊽  
㊾ ㊿  
㊿

①にはよみがな、②にはかんじをかき  
①にはよみがな、②にはかんじをかき

反対の意味の漢字をさがして□に書きましょう。

長 → 短 重 → 負 → 始 → 終  
来 → 楽 → 始 → 終  
明 → 発 → 寒 → 暑  
生 → 集 → 寒 → 暑

短 勝 去 始 終 寒 暑  
着 苦 暗 死  
軽 配

①にはよみがな、②にはかんじをかき  
①にはよみがな、②にはかんじをかき

**かなだめし**

いなかのおばあちゃん  
結とわたしは、おばあちゃんをエキ  
にむかえに行きました。母が一車に  
注意して、歩道橋のある所をわた  
って行きなさい。」と言いました。  
中央の大きい口でマッていたら、十分くらいた  
て、ホームの端なんをおりてきました。おばあちゃん  
は「どうもありがとう。」と、にこにこして、お礼を  
言いました。畑で取れた野菜をたくさんリュックに  
入れて、マッてきました。  
リュックが重いので、近くの公園で休みました。ウ  
ツクしい草花が、たくさんさいっていました。木の葉も  
緑色にまがってました。わたしたちはアランコをこ  
いて遊びました。おばあちゃん「ちんちんようように気  
をつけて。」と言いました。

①おばあちゃん来た  
日は何曜日ですか。

②おばあちゃんが来た  
日は何曜日ですか。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

①にはよみがな、②にはかんじをかき  
①にはよみがな、②にはかんじをかき

漢字の知識が豊かになると、文章を読んで内容を理解することも楽になるはずです。長文を読んで内容についての問題に答える問題集も、あわせてトライしてみてください。読解力もプラスして完璧にパワーアップした鬼の前にもう“低学力”鬼はいません。

## その他のテストプリント類

### ■入塾実力テスト・文章題入塾テスト・漢字テスト

教材は、これで終わりではありません。入塾時に、「基礎学習練習帳」の進度調整をするための「入塾実力テスト」、「文章題」の進度調整をするための「文章題入塾テスト」、そして「漢字練習帳」の学習の区切りで習熟度を見るための「漢字テスト」が用意されています。このように、学習を始めるに当たって個々のレベルを正確に把握することは、学力向上を目指す上で、とても大切なことです。

#### ★★Coffee Break 「若毛（！？）のいたり」

文章表現の教育に熱心なある大学で、研究者が大学生を対象に作文を添削し、漢字テストを行ったところ、以下のような誤字が見られたそうです。中には思わず吹き出してしまいそうになるものもあるけれど、笑ってばかりはいられません。

【誤】 手張 不難 事状 若毛のいたり 消味期限 経油 人生感

【正】 手帳 無難 事情 若気のいたり 賞味期限 経由 人生観

研究者によると「漢字力の衰えは表現力の衰え」だそうです。  
ドキッとしたお母さん、辞書で確認しておきましょうね。  
そして、お子さんがこのような誤字を書く大人にならないように、よきアドバイスを！！

#### ★★Coffee Break 「お母さんと国語力」

小学生の子供の学習にはお母さんのバックアップが必要ですが、そのバックアップも、方法を間違えると、逆効果となります。

こんなエピソードがあります。国語力が弱いというのでお母さん同伴で、ある国語教室の門をたたいたA君。面接で先生が質問しても、答えるのはいつもお母さんでした。A君自身の日常生活や学校のことを聞いても、お母さんが横からぺらぺら口を出して、とうとうA君は話す機会を与えられませんでした。これでは国語力が弱くなるのも当然です。国語力の基礎の一つである「自分の考えを自分の言葉で表現する意欲」を、このお母さんが奪ってしまっているのですから。

両親、特に子供と密接に関わることの多いお母さんは、まず家庭でのご自身のあり方を見つめ直してみてもいいのではないでしょうか。

## 幼児基礎学習

### ■ 早期教育と幼児基礎学習

こんな幼い子に基礎学習？ いいえ、幼い子だからこそ基礎学習なのです。幼児にとって基礎学習は、とても重要な意味があります。ただし、ここでいう幼児基礎学習とは、**0歳から4歳くらいまでに文字や数を教え込む“早期教育”とは性質を異にします。**早期教育は外界との自然な触れ合いが最も必要な乳幼児期に、能力を超えて圧力をかけるもので、子供の自然な発達のバランスを崩してしまう危険性が指摘されています。そして早期教育を受けた子は受けなかった子よりも、社会性、言語性、認知性、情緒性などにおいて、発達が遅れたという皮肉な調査結果が出ています。

そういったことも踏まえて幼児教育というものを考え、発達段階に応じて適切な指導を行う必要があるのです。新村式「基礎学習システム」における幼児基礎学習は**4歳からスタート**します。この時期は、**一生のうちで最も好奇心が旺盛で知識を吸収する力が強い時期。**ちょうど新しいスポンジが水を吸い取るように、ずっと吸収してしまいます。また、乳幼児期と違って、**考える力の下地**も育ってきています。

このような特徴を持つ幼児期は、文字や数の学習の基礎を築く、またとないチャンスです。

### ■ 創造力を高める教材群

ただ、飽きっぽいのも、幼児の特徴。楽しくないことには目もくれないのも幼児の特徴です。そして幼児は**遊びの中からあらゆることを学びます。**

こういった幼児の特徴に合わせ、幼児の目線に立って開発された新村式「基礎学習システム」の教材は、**創造力・集中力を高めつつ学ぶ楽しさを体で感じる学習**を可能にしました。既にご紹介した幼児用の「れんしゅうちょう」「かきかたノート」とあわせて学習してください。幼い子供にぴったりの「質」と「量」。きっとお母さんにも満足していただけると思います。

この時期に好奇心が満たされ、勉強を楽しいものとして受け止めた子供は、小学校に入ってからスムーズに授業の内容に入っていくことができるでしょう。

では、一つ一つの教材を見ていきます。

### 【よみかた練習帳】

「大きい・小さい」「長い・短い」などの形容と比較、色の名前、物の形態や動作など、テーマに合わせた短い文を繰り返し、声に出して読むことによって、言葉と概念の結びつきを学びます。文章問題の学習への導入教材です。

読み方練習 拗音・促音

こえを だして、2かいずつ よみましょう。

- あかい ぼすとがある ゆうびんきょく。
- しろい ばとがーにのった おまわりさん。
- はひふへほ・まみむめも・もめむみま

○ きって ばった よっと すりっば

★ らっば こっぶ らけっと ほけっと

△ ちゃわん きゅうず ほうちょう じょうろ

□ ちゅうりっぷ きゅうきゅうしゃ しょうぼうしゃ

- 8 -

読み方練習

読み方練習 異種同類

こえを だして、2かいずつ よみましょう。

- おしょうがつは、おとしだまがもらえて うれいな。
- ふゆやすみは、いえのひとと すきいじょうにいった。
- らりるれるる・ろれるりら・やゆよ・わをん

	くだものがあります。そのうち、 ももに○をかきなさい。
	こどもが3にんいます。そのうち、 おとこのこに○をかきなさい。
	いろいろなはながあります。 そのうち、あさがおは。
	やさいがあります。そのうち、 とまとはどれですか。
	まる、さんかく、しかくがあります。 そのうち、さんかくは。

- 17 -

読み方練習

### 【きりえノート】

まだ上手に道具を使うことができない、でもお母さんがやっていることは自分もやってみたい。そんな幼い子供の意欲に応えて、はさみとのりの使い方を学習します。はさみを使う順序、のりをつける場所などの指示があつてとても親切。集中力、創造力を高め、手先を器用にします。

No.9 でんしゃ

1. 2. 3.

台紙 でんしゃ

- 16 -

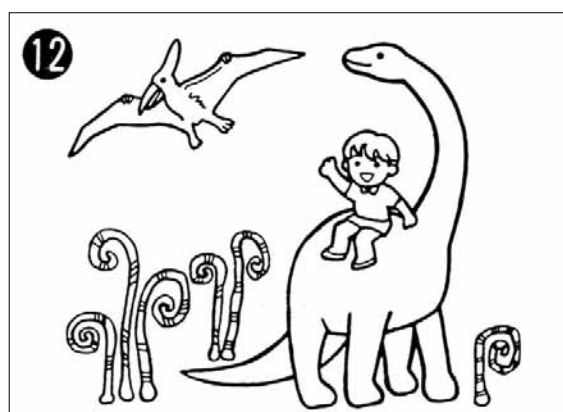
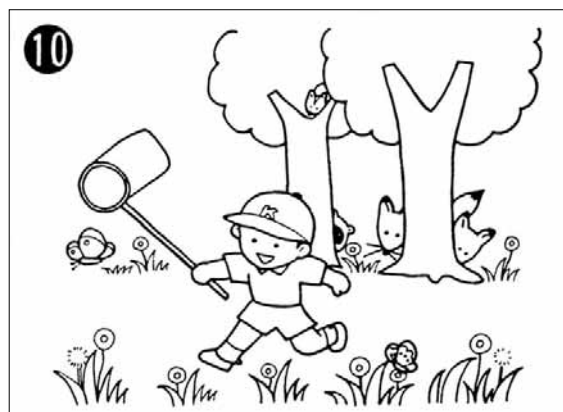
### 【よみかたえほん】

「き（木）」「て（手）」などの1文字の言葉からスタートし、徐々に字数の多い言葉、濁音、半濁音、拗音、促音などのある難読語へと発展していきます。それぞれ、絵を見て文字を指でさしながら声に出して読みます。



### 【ぬりえプリント】

たかがぬり絵。されどぬり絵です。ぬり絵の学習は集中力を養うと同時に情操面でもその効用が評価されています。線からはみ出さないように好きな色をぬってみましょう。完成が楽しみです。



**【知恵の積木 1 2 3 / 1. 2. 3 つみき (つみきノート)】**

ただの積み木ではありません。その理由(わけ)はお母さんもトライしてみればわかります。頭の体操になるので、たまにはいいかも!?まず、ノートの上に積み木を並べることから始まり、徐々に難しい形を作っていきます。平面図形感覚から立体図形感覚へ。見えない部分を見る目を養います。

**1.2.3 つみき 初級-16**

できたしるし

ならべてみましょう。

① **ピラミッド** (25こ)  
いちばん下からならべよう

② **36こ**

初-16

**1.2.3 つみき 中級-11・12**

できたしるし

中-11 **らくだ** (24こ)

中-12 **3がいでビル** (18こ)

-6-

**【○△□図形パズル /**

**図形パズル (パズルノート)】**

パズルノートの図に合わせてパズルを置いていきます。これもレベルの高いものになると、積み木同様、大人でも骨が折れます。子供のいない所でこっそりやってみては？

**図形パズル C-12**

できたしるし

てほん あまりなし

2つ いっしょに

**図形パズル B-1**

(1) うえにのせてみよう

-1-

## ■ 幼児学習カリキュラム

「これならうちの子も嫌がらずにやれそうだな。それに小学校に入るときに心配しなくて済みそうだね」と、あるお父さん。「でもこれを一遍にやるのは無理よね。お教室では、どんなふうにこれをやらせてくれるのかしら？」と、お母さん。

疑問にお答えします。例えば新村塾では、次のような学習カリキュラムで、指導を行っています。

	みなおし	れんしゅうちょう	ピクチャーパズル	きりえ	ぬりえ	すうじ	1・2・3つみき	○△□パズル	なまえ	かきかた	けいさんプリント	よみかたえほん	ぶんしょうだい	テスト	プリント	かず・もじ
4/10	○	○			○	○	○		○	○		○				○
4/13	○	○	○			○		○				○			○	

【注】○は学習することを表します。○がついていないものは別の日に学習します。

幼い子供たちは、勉強をさせられているという感覚で受け止めるのではなく、「今まで知らなかった。でももうわかったよ。何だか楽しい気分になっちゃった」というふうな、心地よさで満たされるでしょう。そして、楽しいことはまたやりたい、次のステップへ進みたいという自然な欲求が学習意欲へとつながるのです。

この幼児期にこうした学習体験をした子は、友達関係においても、あるいは運動その他においても積極的で、自ら進んで問題解決していこうという姿勢が見られます。

これからの長い子育てに希望と不安でいっぱいのお母さん、子育ての目的は子供を自立させること。さあ、自立のための、小さな小さな“第一歩”です。

## 塾選びは慎重に

### ■乱塾時代は低学力時代!?

街を見渡せば、あっちにもこっちにも塾、塾、塾。お母さん方が子供だった頃と比べると、塾は確実に増えています。それならば、子供の学力は全体的に向上するはずですが、実際はその逆で、**学力低下の問題は深刻化するばかり**。なぜなのでしょう。どうも指導システムに原因が隠されていそうですね。

重度のひき算病が新村塾で全快したA子ちゃんの話の前にご紹介しましたが、このA子ちゃんが転塾してくる前に通っていた塾のように、いくら勉強しても、実際には学習効果の上がらないシステムを採用している塾が多いのが現実なのです。幸いA子ちゃんの場合は、新村塾で適切な治療を受け、病気を克服し、明るい将来が見えてきましたが、自覚症状のないまま、あるいは自覚症状があっても原因を追求しないまま、闇の中をさまよっている子供たちが大勢います。私たち大人は、この実態にしっかりと目を向け、この類の病気がもうこれ以上蔓延しないよう最善の手を尽くさねばなりません。そして**真の学力向上**へと導いていく責任があります。

### ■甘い言葉にご用心!

そこで、求められるのが「塾選び」のための確かな“目”です。どの塾を選ぼうかなと思った時、お母さんは、まず何をしますか。お友達のお母さんに聞いてみる、新聞の折込広告の中から探す、テレビのCMを見る、インターネットで検索する……etc. とりあえず、どれも情報収集の手段としては有効です。CMや広告は、どれも趣向が凝らされ、ビジュアル的に目を引くデザインで、「つけると必ず美しくなる」化粧品よろしく「入塾テストは行いませんのでお気軽にどうぞ」と安心させて攻める「ノーテスト」派、「学習内容を先取りして指導しますから、人よりも前へ進めます」と教育ママの競争心を刺激する「先取り」派など、“プラスα”のアピールにも、余念がありません。しかし、入塾テストを行わずに、どうやって個々の学力レベルに応じた進度調整をするというのでしょうか。また、基礎をしっかりとためずに先へ先へと進んでしまっていて、その先に果たして学力向上はあるのでしょうか。

### ■塾選びの決め手は?

「我が子に基礎学力をつけさせたい」ということを真剣に考えた場合、甘い宣伝文句は、塾の質を見極める決め手にはなり得ません。一人一人の子供の学力レベルを細かく分析した上で、単なるテクニックではない、**真の学力を身につけてくれる塾**——これこそが、**低学力時代に求められる塾**と言えるのではないのでしょうか。ですから塾選びは慎重に行わなければなりません。最近、塾から塾へと転々と渡り歩く「渡り鳥症候群」の子供が増えていたりとか。いい塾ばかりであれば、そんな現象は起きないでしょう。

### ■親から子への“贈り物”

「この塾のこの教材に出会えて本当によかった」新村塾では子供たちが心からそう思える学習システムを提供しています。

お母さん、ぜひ手作りの温かさが感じられるこれらの教材に触れてみてください。いい塾のいい教材——親から子への、生涯の宝となる“贈り物”です。



## ★★Coffee Break 「かわいい子には」

「父母やはらかにして、子を愛し過ごせば、子おこたりて、父母をあなどり、つ  
つしまずして、行儀悪しく、きずい（氣随）にして身の行ひ悪しく、道にそむく。  
…（中略）…子の賢不肖、多くは父母のしはざなり、父母いるがせにして、子の悪  
しきをゆるせば、悪を長ぜしめ、不義にをちいる。これ子を愛するに非ずして、か  
へりて、子をそこなうなり。」

### 【現代語訳】

「父母が子供に厳しくしないでかわいがり過ぎると、子供は怠けて父母を侮り、  
慎みを忘れ、行儀が悪くなり、わがままになって品行も悪くなり道理をわきまえな  
くなる。…（中略）…子供が賢いか愚かかはほとんど父母次第である。父母が投げ  
やりになって、子供の悪いところを放っておくと、ますます増長させて道にはずれ  
てしまう。これは子供を愛しているのではなくて、かえって子供をだめにしてしま  
っているということである。」

これは江戸時代の、儒学者であり教育家でもある貝原益軒の著した「和俗童子  
訓」巻之二の中の一節です。「和俗童子訓」は我が国最初のまとまった教育論書で  
あり、その教育観、児童観は近世教育のいしずえとなり、明治以降の近代社会の国  
民教育とも深いところにつながっています。難しい話はさておいて、要するに「子  
供を愛しているのなら、厳しくしなさい」ということですね。中学か高校の時に習  
った“Spare the rod and spoil the child. (かわいい子には旅をさせよ)”とい  
う英文を思い出しませんか？

このテーマは古今東西、変わらぬ普遍の真理なんですね。お宅ではどうでしょ  
うか？

## ★★Coffee Break 「本当の財産」

NHK教育テレビ「マテマティカ」でおなじみのピーター・フランク氏は、数学者であ  
りジャグラーでもある、とても多才でユニークな人です。皆さんもご存知ですよ。その彼  
の趣味は、さて何でしょう。映画かな？ 音楽かな？ いいえ、驚くなかれ。“勉強”なん  
だそうです。

ハンガリーで生まれ育った彼はユダヤ人。当然彼の両親もおじいちゃんもおばあちゃんも  
ユダヤ人です。ユダヤ人がどんな悲しい運命をたどったのか知らない人はいないと思いま  
す。時は第二次世界大戦の真っ只中。ユダヤ人というだけで強制収容所に入れられ殺された  
おじいちゃん、おばあちゃん。住んでいた家をまるごと焼かれたお父さん。家族全員を殺さ  
れて一人ぼっちになったお母さん。彼らは家もお金も持っている物もすべて一瞬にして失っ  
てしまったのです。それでもお父さんはその後一生懸命勉強して医師になり、同じく一生懸  
命勉強して医師になったお母さんと結婚しました。そして生まれたピーターに、いつも話し  
て聞かせたそうです。「頭と心の中にあるものだけが、あなたの本当の財産です」と。

この、戦争から得た教訓は、戦争を知らないピーターの心の中に深く浸透し、生きていく  
上で大きな影響を与えたのだそうです。

頭と心の中に刻みつけたもの——これは誰にも奪うことのできないすばらしい財産です。  
どうですか？ “勉強”に対する見方が変わってきたでしょう？